

經 濟 學 部

履 修 要 項

昭 和 61 年 度

駒 澤 大 學

学 年 暦

前 期

4月8日(火)	入学式(学部・短大)
7日(月)	} 新入生オリエンテーション
11日(金)	
9日(水)	} 在校生成績発表(学部・短大)
10日(木)	
9日(水)	} 在校生身分登録(学部・短大)
19日(土)	
10日(木)	} 体育実技Ⅱ種目選択届受付 (学部2年次生)
11日(金)	
12日(土)	前期授業開始
12日(土)	} 成績質疑応答
19日(土)	
21日(月)	} 履修届受付(学部・短大) (学部により受付日が異なる)
24日(木)	
5月13日(火)	} 春季健康診断 (2・3・4年次生対象)
22日(木)	
26日(月)	} 卒業論文論題受付 (締切日は正午まで)
6月10日(火)	
7月5日(土)	} 外国語指定届受付(仏教・文(除英 米文)・法学部・短大国文・英文の 1年次生及び経済学部の2年次生)
11日(金)	
7月10日(木)	} 中間試験(授業平常通り)
16日(水)	
16日(水)	前期授業最終日
17日(木)	} 前期定期試験(前期終了科目) (授業休講)
18日(金)	
19日(土)	夏季休暇第1日
19日(土)	} 体育実技Ⅱ集中授業・シーズンコース (テニスA)
23日(水)	
24日(木)	} 体育実技Ⅱシーズンコース (テニスB)
28日(月)	
	(学部2年次生)

後 期

9月8日(月)	} 補講期間
13日(土)	
12日(金)	前期定期試験欠試届(追試申込) 受付締切

16日(火)	後期授業開始
17日(水)	} 前期定期試験成績発表及び 再試験申込受付
18日(木)	
25日(木)	} 前期追・再試験(授業平常通り)
30日(火)	
10月1日(水)	} 秋季健康診断(1年次生対象)
3日(金)	
3日(金)	} 専攻コース指定届受付 (歴史・社会学科1年次生)
4日(土)	
13日(月)	} 前期追・再試験成績発表
14日(火)	
15日(水)	第104回開校記念日(全学休業)
11月12日(水)	} 転部科試験願書受付
14日(金)	
28日(金)	転部科試験
12月4日(木)	} 編入学試験願書受付
12日(金)	
10日(水)	卒業論文受付締切(正午)
19日(金)	冬季休暇第1日
19日(金)	} 体育実技Ⅱ集中授業コース (学部2年次生)
23日(火)	
22日(月)	編入学試験

昭和62年

1月8日(木)	後期授業再開
14日(水)	後期授業最終日
16日(金)	} 定期試験(専門・基礎・教職科目)
27日(火)	
28日(水)	} 定期試験(一般・外国語・保健体育 科目)
2月5日(木)	
6日(金)	卒業論文口頭試問
7日(土)	定期試験欠試届(追試申込)受付締切
16日(月)	} 体育実技Ⅱシーズンコース (スキーA・B)(学部2年次生)
20日(金)	
19日(木)	} 成績発表及び追・再試験申込受付 (学部4年次生・短大生)
20日(金)	
25日(水)	} 追・再試験(学部4年次生・短大生) 追試験(学部1・2・3年次生)
3月3日(火)	
19日(木)	卒業者名簿発表
25日(水)	卒業式(学部・短大)

経済学部学生諸君へ

この「履修要項」は、諸君が本学経済学部の学生として4年間の学園生活を過すために必要であると思われる学習上の基本的事項をまとめたものである。

経済学部における教育の主たる目標はすぐれた職業人であると同時にすぐれた社会人を育成し、社会の進展に貢献することにある。そのために諸君は、専門的な知識のほかに教養ある社会人として必要な人文・社会・自然について深い理解をもつことが要求される。

またわが国経済の著しい国際化の傾向にともない、今後国際交流が一段と推進されると思われるが、国際社会で活躍するにはなによりも外国語を十分マスターしておくことが必要である。

諸君がこうした目標を達成できるように、本学部の教育課程は「一般教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」「基礎教育科目」「専門教育科目」および「随意科目」から構成されており、4年間にわたり幅広く、体系的に学習できるよう十分配慮されている。

さらに経済学部の教育制度上の特徴は、「専門科目」に大幅な選択制を導入するとともに、少人数によるゼミナールを数多く開講している点である。こうした選択制とゼミナールによる教育を重視しているのは、学生諸君の自主的な学習を尊重することにより諸君の能力を効果的に発揮させ、個性豊かな人間を形成することを教育の最終目標としているためである。

諸君はこうした経済学部の教育課程の特質を十分に理解し、将来どのような局面に遭遇しても問題点の所在を的確に把握し、その解決方法を自らの努力と判断で見出して行く能力を身につけてもらいたいと念じている。

最後に、この「履修要項」を熟読し、4年間の貴重な大学生活を計画的に、しかも悔のない充実したものとして送られることを切に期待するものである。

駒沢大学経済学部

目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
1.	卒業に必要な単位数	(3)
2.	学 士 号	(6)
III	授業科目の履修方法	(7)
1.	一般教育科目の履修方法	(7)
2.	外国語科目の履修方法	(8)
3.	保健体育科目の履修方法	(11)
4.	基礎教育科目の履修方法	(12)
5.	専門教育科目の履修方法	(12)
6.	随意科目の履修方法	(16)
7.	再履修科目の履修方法	(16)
	※コード番号について	(17)
IV	履修科目の登録（履修届）とその作成順序	(19)
1.	履修科目の登録	(19)
2.	履修届記入上の注意	(20)
3.	履修届の作成順序	(21)
V	試験および成績評価	(22)
1.	定期試験	(22)
2.	中間試験	(22)
3.	追・再試験	(22)
4.	受験心得	(23)
5.	成績評価・単位認定	(23)
6.	試験時間	(23)
VI	進級について	(24)
VII	クラス制およびクラス主任	(25)
VIII	教職課程・資格講座	(25)
IX	事務取扱いについて	(26)
X	届書・願書について	(27)
XI	各種証明書取扱い窓口	(28)
	試験実施規程（抜萃）・進級規程・進級基準	(29)
	講 義 内 容	(33)

I 単 位 制 と 学 年 制

1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4年以上（7年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）
 - (a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目
 - (b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目
 - (c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

1. 卒業に必要な単位数

経済学科

A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	5	10	18	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	16	84	
	選択	17	68		

B. 58年度・59年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	5	10	18	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	16	84	
	選択	17	68		

経済学科

C. 56年度・57年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	5	10	18	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	3	12	84	
	選択	18	72		

D. 55年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	14	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	16	88	
	選択	18	72		

商 学 科

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	84	
	選 択	18	72		

B. 57～59年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	84	
	選 択	18	72		

商 学 科

C. 56年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	1	4	84	
	選 択	20	80		

D. 55年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	14	
	第 2 外 国 語	3	6		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	2	8	88	
	選 択	20	80		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の学士の称号が与えられる。

経済学科……経済学士 商学科……商学士

Ⅲ 授業科目の履修方法

※北海道教養部では、授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし、随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は、本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこのかぎりではない）
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再履修することはできない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次で必修とする。
- ハ. 2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

人文分野	4単位ずつ4科目	計16単位	}	合計9科目 36単位
社会分野	4単位ずつ3科目	計12単位		
自然分野	4単位ずつ2科目	計8単位		

分 野	授 業 科 目	単 位	履 修 科 目 数	修 得 単 位	計	備 考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	} 「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」の2科目を含めて4科目選択必修	16	}	
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲 学	4				
	論 理 学	4				
	倫 理 学	4				
	文 学	4				
	歴 史 学	4				
社会分野	法 学 憲 法 (日本国憲法2単位を含む)	4	} 3科目選択必修	12	}	教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする
	政 治 学（2年次）	4				
	社 会 学（2年次）	4				
	地 理 学	4				
	統 計 学	4				
自然分野	文 化 人 類 学	4	} 2科目選択必修	8	}	
	自 然 科 学 概 論	4				
	数 理 学	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は火曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1・2年次および3年次（56年度以降入学生）において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

履修年次	第 1 外 国 語		第 2 外 国 語	
	科 目 数	単 位 数	科 目 数	単 位 数
1 年 次	2 (2) 科 目	4 (4)	2 (2) 科 目	4 (4)
2 年 次	2 (2) 科 目	4 (4)	2 (1) 科 目	4 (2)
3 年 次	1 科 目	2	—	—
計	5 (4) 科 目	10 (8)	4 (3) 科 目	8 (6)

※()内の数字は55年度以前入学生適用。

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	履 修 科 目 数	備 考
英 語 1 G	2		1 G・1 R 2 科目を必修とする。ただし1 Gは英会話 I または英語 L L I に代替できる。	LLI (ランゲージ・ラボラトリー)
英 語 1 R	2			
英 会 話 I	2			
英 語 LL I	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ド イ ツ 語 1 G	2	文 法	5 カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1 G・1 Rの2科目を必修とすること。	
ド イ ツ 語 1 R	2	講 読		
フ ラ ン ス 語 1 G	2	文 法		
フ ラ ン ス 語 1 R	2	講 読		
中 国 語 1 G	2	文 法		
中 国 語 1 R	2	講 読		
ス ペ イ ン 語 1 G	2	文 法		
ス ペ イ ン 語 1 R	2	講 読		
ロ シ ア 語 1 G	2	文 法		
ロ シ ア 語 1 R	2	講 読		

※英語科目内容

英語1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語1R：講読を通し内容と文構造の基本を把握する。

※「英語1R」の授業は火曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

A. 56年度以降入学生適用

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語（英語と他の1カ国語）を、それぞれ2AⅠ・2AⅡの2科目ずつ計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A Ⅰ	2	} 2科目必修	ド イ ツ 語 2 A Ⅰ	2	} 1年次で履修した1カ国語2科目必修
英 語 2 A Ⅱ	2		ド イ ツ 語 2 A Ⅱ	2	
			フ ラ ン ス 語 2 A Ⅰ	2	
			フ ラ ン ス 語 2 A Ⅱ	2	
			中 国 語 2 A Ⅰ	2	
			中 国 語 2 A Ⅱ	2	
			ス ペ イ ン 語 2 A Ⅰ	2	
			ス ペ イ ン 語 2 A Ⅱ	2	
			ロ シ ア 語 2 A Ⅰ	2	
			ロ シ ア 語 2 A Ⅱ	2	

※英語科目内容

英語2AⅠ：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語2AⅡ：意志表現と意志伝達的能力を発展させ、応用力を修得する。

3年次の履修

1・2年次で履修の2カ国語のうち、いずれか1カ国語を第1外国語とし3Aを1科目2単位必修とする。

第1外国語

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 3 A	2		中 国 語 3 A	2	
ド イ ツ 語 3 A	2		ス ペ イ ン 語 3 A	2	
フ ラ ン ス 語 3 A	2		ロ シ ア 語 3 A	2	

※英語科目内容

英語3A：1年次、2年次の英語力を基礎とし現代英語を通して国際的視野を養う。

B. 55年度以前入学生適用

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし2AⅠ・2AⅡの2科目4単位、他方を第2外国語として2Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

第1外国語（指定した外国語2AⅠ・2AⅡの2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A Ⅰ	2		中 国 語 2 A Ⅰ	2	
英 語 2 A Ⅱ	2		中 国 語 2 A Ⅱ	2	
ド イ ツ 語 2 A Ⅰ	2		ス ペ イ ン 語 2 A Ⅰ	2	
ド イ ツ 語 2 A Ⅱ	2		ス ペ イ ン 語 2 A Ⅱ	2	
フ ラ ン ス 語 2 A Ⅰ	2		ロ シ ア 語 2 A Ⅰ	2	
フ ラ ン ス 語 2 A Ⅱ	2		ロ シ ア 語 2 A Ⅱ	2	

第2外国語（指定した外国語2Bを1科目2単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 B	2		中 国 語 2 B	2	
ド イ ツ 語 2 B	2		ス ペ イ ン 語 2 B	2	
フ ラ ン ス 語 2 B	2		ロ シ ア 語 2 B	2	

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号(下4ケタ)により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1・2年次履修の外国語（英語と他の1カ国語）のうち、3年次に履修する第1外国語を学生自身が指定し、2年次の7月初旬に登録すること。（56年度以降入学生）
- ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ホ. 3年次までに所定の単位を修得していなければならない。（ただし、55年度以前入学生は2年次まで）

3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度以降入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

A. 60年度以降入学生適用

講義と実技に分かれる。講義は1年次に1科目2単位、実技は1年次1科目1単位〈体育実技Ⅰ〉、2年次1科目1単位〈体育実技Ⅱ〉の3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

イ. 講義・体育実技Ⅰは玉川校舎で授業を行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※体育実技Ⅰについての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は、教務部にて、それぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コース及び集中授業等の申込み方法については、教務部より配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

B. 59年度以前入学生適用

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前 期 また は 後 期
実 技	体 育 実 技	2	通 年

イ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ロ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ハ. 講義・実技とも1年次生は玉川校舎で授業を行う。

※実技についての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は教務部にて、それぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

4. 基礎教育科目の履修方法

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次に科目単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については、専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

イ. 1・2年次開講科目は、ほとんど基礎的科目である。

ロ. 所属学科の開講科目を履修することを原則とするが、特に希望する場合、同学部内の専門教育科目に限り他学科の開講科目でも履修して試験に合格すれば単位は認められる。(科目コース番号が335…ではじまる科目。)

ただし、必修科目に関しては他学科の科目は履修できない。

経済学科

必修科目

A. 58年度以降入学生 4科目 16単位

2年次必修		
授業科目	単位	備考
経済原論Ⅰ	4	
経済原論Ⅱ	4	
経済史	4	
経済政策	4	

B. 56年度・57年度入学生 3科目 12単位

2年次必修		
授業科目	単位	備考
経済原論Ⅰ	4	旧：経済原論
経済史	4	
経済政策	4	

C. 55年度以前入学生 4科目 16単位

2年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
経済原論Ⅰ	4	旧：経済原論	外書講読Ⅰ	4	
経済史	4				
経済政策	4				

選択科目の卒業所要単位数

58年度以降入学生 68単位以上

57年度以前入学生 72単位以上

商 学 科

必修科目

A. 57年度以降入学生 3科目 12単位

1 年 次 必 修			2 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
会 計 学 総 論	4		商 学 総 論	4	
			経 営 学 総 論	4	

B. 56年度入学生 1科目 4単位

1 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4	

C. 55年度以前入学生 2科目 8単位

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4		外 書 講 読 I	4	

選択科目の卒業所要単位数

57年度以降入学生 72単位以上

56年度以前入学生 80単位以上

選択科目一覧（経済・商学科共通）

1 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
会計学総論	4	※イ	国民所得論	4		商業政策	4	
2 年 次 選 択			景気変動論	4		マーケティング	4	
経済原論Ⅰ	4	※ロ	日本経済史	4		貿易論	4	
経済原論Ⅱ	4	※ハ	経済地理	4		貿易実務	4	休講
統計原論	4		国際経済論	4		証券市場論	4	
経済史	4	※ニ	農業政策	4		保険論	4	
経済政策	4	※ニ	工業政策	4		交通論	4	
商学総論	4	※ホ	財政学	4		商品学	4	
商業史	4		財政政策	4	※ト休講	経営管理論	4	
経営学総論	4	※ヘ	金融論	4		労務管理	4	
簿記論	4		国際金融論	4		財務管理	4	
財務会計論	4		銀行論	4		原価計算論	4	
憲法	4		社会政策	4		会計監査論	4	
民法一部	4	総則物権	労働経済論	4		管理会計論	4	
演習Ⅰ	4		中小企業論	4		税務会計論	4	休講
3 年 次 選 択			人口論	4		民法二部	4	債権
演習Ⅱ	4		教育経済論	4		商法一部	4	総則 会社法
4 年 次 選 択			日本経済論	4		商法二部	4	商行為・ 手形・小 切手法
演習Ⅲ	4		アジア経済論	4				
3・4 年 次 選 択			中国経済論	4		労働法	4	
経済学史Ⅰ	4		アメリカ経済論	4		経済法	4	
経済学史Ⅱ	4		ヨーロッパ経済論	4		原書講読	4	
価格理論	4		ソヴィエト経済論	4				

※イ「会計学総論」 経済学科の学生に限り適用。簿記学を修得した学生は、履修できない。

※ロ「経済原論Ⅰ」 旧：経済原論。商学科の学生に限り適用。

※ハ「経済原論Ⅱ」 商学科の学生で58年度以降入学生に限り適用。

※ニ「経済史」,「経済政策」 商学科の学生に限り適用。

※ホ「商学総論」 商学科の学生で57年度以降入学生は必修科目として履修すること。

※ヘ「経営学総論」 旧：経営経済学。商学科の学生で57年度以降入学生は必修科目として履修すること。

※ト「財政政策」 旧：財政政策論。財政政策論を修得した学生は履修できない。

6. 随意科目の履修方法

随意科目は各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることができない。なお、日本語Fは外国人留学生のみを対象とする科目で1年次生より履修できる。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比 較 思 想 特 講	4		日 本 語 F	2	(初級・中級)
英 会 話 II	2		英 語 LL II	2	
ド イ ツ 語 F	2		ド イ ツ 語 FLL	2	(初級・中級)
フ ラ ン ス 語 F	2		フ ラ ン ス 語 FLL	2	(初級・中級)
中 国 語 F	2		中 国 語 FLL	2	(初級・中級)
ス ペ イ ン 語 F	2		ス ペ イ ン 語 FLL	2	(初級・中級)
ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 FLL	2	(初級・中級)

7. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなす。（休学の場合も同様）

ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届出なければならない。

ニ. 外国語（3Aは除く）・体育実技Ⅰ（59年度以前入学生は体育実技）・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。

ただし、原級者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

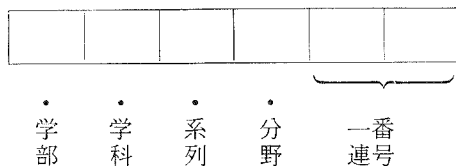
ホ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

※コード番号について

1. 授業科目コードの設定方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

(a) 科目コードの区分



(b) 学部，学科番号は「学生番号について」での説明のとおりである。

(c) 系列，分野区分について

授業科目の区分	系列番号	分 野 番 号
一 般 教 育 科 目	0	
人 文 分 野		1(必修).2(選択)
社 会 分 野		3
自 然 分 野		4
基 礎 教 育 科 目	1	3
外 国 語 科 目	2	
第 1 外 国 語		
第 2 外 国 語		
保 健 体 育 科 目	4	
実 技		1
講 義		2
専 門 教 育 科 目	5	
必 修 科 目		1.2.3
選 択 科 目		5.6.7.8
随 意 科 目	7	
再 履 修 科 目	8	
課 程 ・ 講 座 科 目	9	
必 修 科 目		1
選 択 科 目		2
教 科 科 目		3.4.5.6.7.8

2. 学生番号について

学生番号は8桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせている。

この学生番号は入学から卒業まで学籍異動（原級・転部科など）がない限り変わらない。学内での事務処理はほとんど学生番号で処理されるので、正確に覚えておくこと。

学生番号のみかた

学生番号区分				学籍異動の番号			
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮			
入 学 （西 年 曆 度）	学 籍 異 動	学 部	学 科	⋮	一連番号 （原級のつど変わる）		
					0…異動なし		
					1…原級		
					2…転部（科）		
					3…編入		
					4…原級をして転部（科）		
					転部(科)・編入をして原級		

学部・学科の番号

学部・学科名	学部番号	学科番号	学部・学科名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1		法 学 部	4	
禅 学 科		1	法 律 学 科		1
仏 教 学 科		2	政 治 学 科		2
文 学 部	2		経 営 学 部	5	
国 文 学 科		1	経 営 学 科		1
英 米 文 学 科		2	短 期 大 学	8	
地 理 学 科		3	国 文 科		1
歴 史 学 科		4	英 文 科		2
社 会 学 科		5	放 射 線 科		3
経 済 学 部	3				
経 済 学 科		1			
商 学 科		2			

(例)

6 0 3 1 0 0 1 2
 ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮
 一 九 八 六 年 入 学
 ⋮ 学 籍 異 動 な し
 ⋮ 経 済 学 部
 ⋮ 経 済 学 科
 ⋮ 12 番

(1986年度入学・経済学部経済学科12番)

Ⅳ 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科、学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び、所定の「単位履修届」用紙に必要な事項を記入し届出ることにより、通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次における最低および最高履修科目数（制限科目数）は原則として次のとおりとする。

年 次	新履修科目数	再履修を含む科目数
1 年 次	15 科目	—————
2 年 次	5 科目以上12科目以内	53年度以前入学生は制限外、それ以外は制限内
3 年 次	5 科目以上12科目以内	53年度以前入学生は制限外、それ以外は制限内
4 年 次	5 科目以上14科目以内	5 科目以上14科目以内

イ. 体育実技Ⅱ，課程・講座科目，随意科目は上記表の制限外とする。

ロ. 外国人留学生を対象とする随意科目「日本語F」は，1年次生より履修することができ，上記表の制限外とする。

ハ. 制限範囲内で順次履修すれば，4年次においての新履修科目は専門3科目だけとなり，課程・講座科目の履修や未・再履修科目の補充も制限科目数の範囲内で十分可能となる。

ニ. 半期科目も1科目とする。

Ⅱ) 登録上の注意

イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは教務部窓口にご相談すること）

ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。

ハ. 所属する学科以外の授業科目は原則として登録できない。ただし，同学部内で他学科の専門教育科目を特に希望する場合，または課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として，登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。

ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。

ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

	月 曜 日			
	科目名	科目コード	担任	担任コード
一時限	ドイツ語1G	312201	百 済	879
	~~~~~			
二時限	保健体育理論前	314201	長 浜	993
	保健体育理論後	314201		622
~~~~~				
三時限	宗 教 学 I	310101	平井(俊)	735
	~~~~~			
四時限	論 理 学	310203	国 嶋	306
	~~~~~			
五時限	自然科学概論	310401	宇和川	104
	~~~~~			

正しい記入例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担任	担任コード
月 (1)	1		ドイツ語1G	3 1 2 2 0 1	百 済	8 7 9
	2		保健体育理論前	3 1 4 2 0 1	長 浜	9 9 3
	3		宗 教 学 I	3 1 0 1 0 1	平井(俊)	7 3 5
	4	○	論 理 学	3 1 0 2 0 3	国 嶋	3 0 6
	5		自然科学概論	3 1 0 4 0 1	宇和川	1 0 4

1. 楷書体で正確に記入すること。
2. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
3. 授業時間表のとおり記入すること。
4. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
5. 再履修科目がある場合、再履欄に○印をつけること。
6. 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - イ. 科目名・科目コード、担任名・担任コードが一致しない場合
  - ロ. 時限を誤って記入した場合
  - ハ. 間違い易い数字で記入した場合(例、0と6・1と7)
  - ニ. その他、不明瞭に記入した場合
7. 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
8. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
9. 履修届の本人控を正確に記入し、紛失ないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

#### （経済学科）

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	経済学概説（必修）	1
5	一般教育科目	人文分野 } 開講科目中6または7科目を選択 社会分野 } 必修(不足の場合は2年次で履修) 自然分野 }	7
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

#### （商学科）

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	経済学概説（必修）	1
5	専門教育科目	会計学総論（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目中6科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	6
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月から2月にかけて実施される。
- ロ. 試験を受験できる科目は、正規の手続きを経て履修登録した授業科目であること。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担任名・主題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとじた上で提出すること。  
なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注意) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等については掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記入し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II 再試験

- 1, 2, 3年次生については、再試験は一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技、演習は追、再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追、再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

#### 4. 受験心得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日, 時, 試験場(教場)で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中, 机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し, 受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部, 学科, 学生番号, 氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意をすること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し, 試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場(教場)においては, すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場(教場)の秩序を乱したり, 試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は, 「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意をすること。
  - (1) 代人として受験したり, 又は代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート, テキスト, 参考書, 六法, 辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机, 壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり, 書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作, メモその他の方法で連絡をしたり, 連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート, テキスト, 参考書, 六法, 辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり, すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は, 優(100点~80点), 良(79点~70点), 可(69点~60点)および不可(59点~0点)とし, 優, 良, 可を合格, 不可は不合格として発表する。

なお, 素点に関する問い合わせは一切受付ない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し, 合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験(4年次生のみ)の成績評価は良(70点)以下とする。

#### 6. 試験時間

定期試験実施時間(前期・後期とも)		追(再)試験実施時間(前期)		追(再)試験実施時間(後期)	
1時限 9:30~10:30	4時限 14:30~15:30	1時限 16:10~17:00		1時限 9:30~10:20	
2時限 11:00~12:00	5時限 15:50~16:50	2時限 17:10~18:00		2時限 10:50~11:40	
3時限 13:00~14:00	6時限 17:10~18:10			3時限 13:00~13:50	
				4時限 14:10~15:00	
				5時限 15:20~16:10	

試験実施規程(抜萃)が掲載されている(P.29)ので参照のこと。

## VI 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。  
修得した単位数により進級及び注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

○注意進級とは、進級の基準単位数には達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。

○修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

**修得単位基準表**（単位は卒業所要単位のうちとする）

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
進級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
注意進級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が1～16単位不足している場合。
原級留置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。又は90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が17単位以上不足している場合。

進級規程及び進級基準が（P.31・32）掲載されているので参照のこと。

## Ⅶ クラス制およびクラス主任

1年次では学科毎にクラス制をとり、それぞれクラス主任（教員）をおいて学生の学習指導、生活相談等にあたる制度がある。ただし、61年度は実施しない。

## Ⅷ 教職課程・資格講座

経済学部で開講されている資格取得の課程・講座は、教職課程、学校図書館司書教諭講座、社会福祉主事講座および社会教育主事講座である。（ただし、社会福祉主事講座は59年度以降の入学生より適用。）

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学において教職課程の所定単位を修得したものは、中学校1級・高等学校2級の各普通免許状が取得できる。

学校図書館司書教諭、社会福祉主事および社会教育主事の各講座は、学校教育を充実することを目的とする学校図書館、社会福祉を増進させるための機関等、および青少年に対して行われる組織的な教育活動である教育施設の各専門職員となる有資格者を養成するために設けられている。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋（11月中旬）に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。（授業科目の講義内容は当該履修要項の講義内容を参照すること）

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

○開講されている課程・講座

課 程 ・ 講 座 名	備 考
教 職 課 程	2年次より
学校図書館司書教諭講座	”
社会福祉主事講座	” 59年度入学生より適用
社会教育主事講座	”

## IX 事務取扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後3日以内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。
- ニ. 成績証明書は、卒業年度生以外は原則として発行しない。

### 2. 授業時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第 1 時 限	第 2 時 限	第 3 時 限	第 4 時 限	第 5 時 限
時 間	9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	12 : 50～14 : 20	14 : 30～16 : 00	16 : 10～17 : 40

### 3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出、成績発表、各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口にて申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については、午前7時現在、国電（山手、中央、京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要あるときは、必ず登校のうえ、掲示を見るか、関係事務窓口で問い合わせること。

## X 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類		要 領	必 要 書 類	本人印	保証人印	取扱窓口
届 書	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に修得しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	本 籍 地 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	保 証 人 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 在学誓書(保証書)添付	要	要	⑤
	保 証 人 住 所 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤
	死 亡 届	/	所定用紙あり 死亡診断書添付	/	要	⑤
願 書	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学することができない場合は、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり 傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑤
	復 学 願	休学した者が復学する場合は、毎学年の始め、保証人連署の上願い出て許可を得なければならない。「復学願」の提出は4月7日までとする。	所定用紙あり 傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑤
	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり 学生証添付	要	要	⑤
	転 部 ・ 転 科 願	事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり	要	要	⑦

## XI 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書(卒業年次生のみ)	教務部④番	1通 100円 (英文証明書) 1通 300円)
成績証明書		
卒業証明書		
学士証明書		
教員免許状取得見込証明書		
単位修得証明書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一般教養科目修了(見込)証明書		
在籍証明書 (中途退学者に限る)	教務部⑤番	無 料  無 料
人物考査書	就職部	
健康診断証明書	学生部③番	
在学証明書	学生部②番	
学割		
通学証明書		

※経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付(郵送料も同様)の上、取扱い窓口に申し込むこと。発行は原則として3日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から10月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

## 試験実施規程（抜萃）

昭和59年7月13日制定

### （目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
- (2) 追加試験（以下「追試験」という。）病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
- (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について臨時に行う試験をいう。
- (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。

2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。

3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときはこれを実施しない。

- (1) 学部1，2，3年次生の再試験
- (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
- (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

1. この規程は、昭和59年7月13日から施行する。

## 進 級 規 程

(昭和51年4月1日制定)

昭和59年12月18日改正

### (目 的)

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

### (進級基準単位数)

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること  
ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

### (注意進級基準単位数)

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。

ア. 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

イ. 経済学部、経営学部、経済学部第2部、経営学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。

ウ. 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

### (原 級)

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

### 附 則

この規程は、昭和60年4月1日から施行し、昭和60年度入学生から適用する。ただし、昭和59年度以前の入学生については、昭和62年3月31日までは、なお、従前の進級基準によるものとする。

## 進 級 基 準

この基準は、駒沢大学学則第14条に基づき、上級学年に進級する場合の基準を次のように定める。

### (正規進級)

第1条 上級学年に正規進級する場合は、下記の単位数の取得を要する。

1. 1年から2年に進級する場合、卒業所要単位のうち、30単位以上。
2. 2年から3年に進級する場合、卒業所要単位のうち、60単位以上。
3. 3年から4年に進級する場合、卒業所要単位のうち、90単位以上。

ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

### (注意進級)

第2条 正規の進級基準には、達しないが教育的配慮から進級を認める。ただし注意進級が、再度つづく場合には、取得単位の不足から、4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

1. 1年から2年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
2. 2年から3年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
3. 3年から4年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上を取得するも、その内一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の不合格単位数の合計が1～16単位までとする。

### 附 則

この基準は、昭和51年4月1日より施行する。

## 講 義 内 容 目 次

一般教育科目(共通).....	(37)
随 意 科 目 ( 共 通 ).....	(43)
基 礎 教 育 科 目.....	(46)
専 門 教 育 科 目.....	(47)
教職および資格講座.....	(61)



一般教育科目（共通）

人文分野	
宗教学Ⅰ	(袴谷 憲昭)……………37
宗教学Ⅰ	(池田 魯参)……………37
宗教学Ⅰ	(田上 太秀)……………37
宗教学Ⅰ	(吉津 宜英)……………37
宗教学Ⅰ	(片山 一良)……………37
宗教学Ⅰ	(末光 愛正)……………37
宗教学Ⅰ	(再クラス)(岡部 和雄)……………38
宗教学Ⅰ	(再クラス)(奈良 康明)……………38
宗教学Ⅱ	(永井 政之)……………38
宗教学Ⅱ	(伊藤 秀憲)……………38
宗教学Ⅱ	(中野 東禅)……………38
宗教学Ⅱ	(河村 孝道)……………38
宗教学Ⅱ	(田中 良昭)……………38
哲学	(円谷 裕二・湯浅 正彦)……………38
論理学	
	(片桐 茂博・久保 陽一・高橋 久一郎)……………39
倫理学	(山下 太郎)……………39
文学	(平 敏功)……………39
文学	(田中 徳定)……………39
歴史学	(木槻 哲夫)……………39
歴史学	(立川 章次)……………39
歴史学	(久保田 真継)……………39
社会分野	
法学憲法	(竹花 光範)……………39
法学憲法	(茂野 隆晴)……………39
法学憲法	(馬越 道夫)……………40
政治学	(浦田 早苗)……………40
社会学	(橋爪 敏)……………40
社会学	(岩上 真珠)……………40
統計学	(飯塚 仁之助)……………40
地理学	(菱口 善美)……………40
地理学	(玉井 建三)……………40
文化人類学	(加藤 正春)……………41
自然分野	
自然科学概論	(宇和川 正人)……………41
自然科学概論	(古野(漆原)和子)……………41
自然科学概論	(篠原 正雄)……………41
数学	(宮寺 功)……………41
数学	(斉藤 浩三)……………41
心理学	(森山(梅田)敏文)……………41
心理学	(井上 孝代)……………41
心理学	(鈴木 順一)……………41
心理学	(園田 健司)……………42
心理学	(坂原 明)……………42

随意科目（共通）

比較思想特講	(窪 徳忠)……………43
英会話Ⅱ	(J. ウェルズ・J. G. ギャリソン T. J. コーガン・P. A. ベンディネリイ)……………43
英語LLⅡ	(T. J. コーガン・見上 晃)……………43
ドイツ語F	(栗原 万修)……………43
ドイツ語FLL	(初級)(松岡 晋)……………43
ドイツ語FLL	(中級)(松本 洋子)……………43
フランス語F	(加藤 節子)……………43
フランス語FLL	(初級)(松岡 宏一)……………43
フランス語FLL	(初級) (マドレーヌ・マルタン)……………44
フランス語FLL	(中級) (マドレーヌ・マルタン)……………44
中国語F	(刈間 文俊)……………44
中国語FLL	(初級)(果 荃英)……………44
中国語FLL	(中級)(羅 濛明)……………44
スペイン語F	(佐藤 玖美子)……………44
スペイン語FLL	(初級)(ホワン・ナバロ)……………44
スペイン語FLL	(中級)(ホワン・ナバロ)……………44
ロシア語F	(杉山 秀子)……………44
ロシア語FLL	(初級) (タチャーナ・バリソヴナ・野村)……………44
ロシア語FLL	(中級) (タチャーナ・バリソヴナ・野村)……………45
日本語F	(初級)(留学生対象)(大塚 純子)……………45
日本語F	(中級)(留学生対象)(杉山 秀子)……………45

基礎教育科目

経済学概説	(小谷野(阿部)弘)……………46
経済学概説	(金子 ハルオ)……………46

専門教育科目

1 年次必修科目（商学科）	
会計学総論	(遠藤 孝)……………47
会計学総論	(飯岡 透)……………47
1 年次選択科目（経済学科）	
会計学総論	(加藤 利安)……………47
会計学総論	(竹林 代嘉)……………47
2 年次必修・選択科目	
経済原論Ⅰ	(小谷野(阿部)弘)……………48

經濟原論Ⅰ(金子 ハルオ).....	48	原価計算論(加藤 利安).....	56
經濟原論Ⅱ(淺田 統一郎).....	48	會計監査論(飯岡 透).....	56
經濟原論Ⅱ(淺野 克巳).....	48	管理會計論(中原 章吉).....	57
經濟政策(石井 啓雄).....	49	民法二部(青野 博之).....	57
經濟史(熊岡 洋一).....	49	商法一部(山田 泰彦).....	57
商學總論(前田 重朗).....	49	商法二部(関口 雅夫).....	57
經營學總論(寺中 良二).....	49	労働法(深谷 信夫).....	57
<b>2年次選択科目</b>		經濟法(江上 勲).....	57
統計原論(吉野 紀).....	49	原書講読(英)(淺田 統一郎).....	58
商業史(山田 勝).....	50	原書講読(英)(淺野 克巳).....	58
簿記論(竹林 代嘉).....	50	原書講読(英)(加藤 利安).....	58
財務會計論(遠藤 孝).....	50	原書講読(英)(小林 英夫).....	58
憲法(齊藤 寿).....	50	原書講読(英)(斎藤 正).....	58
民法一部(山崎 敏彦).....	50	原書講読(英)(有井 行夫).....	58
<b>3・4年次選択科目</b>		原書講読(英)(瀬戸岡 紘).....	58
経済学史Ⅰ(福原 好喜).....	50	原書講読(英)(曾我 信孝).....	58
経済学史Ⅱ(有井 行夫).....	51	原書講読(英)(百田 義治).....	59
価格理論(荒木 勝啓).....	51	原書講読(英)(古沢 紘造).....	59
国民所得論(吉野 紀).....	51	原書講読(英)(光岡 博美).....	59
景気変動論(西村 允克).....	51	原書講読(独)(福原 好喜).....	59
日本經濟史(古庄 正).....	51	原書講読(フ)(清水 卓).....	59
經濟地理(上坂 修夫).....	51	原書講読(中)(小杉 修二).....	59
國際經濟論(徳永 俊明).....	52	原書講読(ス)(徳永 俊明).....	59
農業政策(淺田 喬二).....	52	原書講読(ロ)(山縣 弘志).....	59
工業政策(剣持 通夫).....	52	簿記論(川口 修).....	59
財政学(西村 紀三郎).....	52		
金融論(渋谷 隆一).....	52		
國際金融論(齊藤 寿彦).....	52		
銀行論(本間 靖夫).....	53		
社会政策(光岡 博美).....	53		
労働經濟論(山下 不二男).....	53		
中小企業論(大林 弘道).....	53		
人口論(森岡 仁).....	53		
教育經濟論(谷敷 正光).....	53		
日本經濟論(森 武麿).....	54		
アジア經濟論(小林 英夫).....	54		
中国經濟論(小杉 修二).....	54		
アメリカ經濟論(瀬戸岡 紘).....	54		
ヨーロッパ經濟論(清水 卓).....	54		
ソヴェト經濟論(山縣 弘志).....	55		
商業政策(安藤 政武).....	55		
マーケティング(曾我 信孝).....	55		
貿易論(古沢 紘造).....	55		
証券市場論(澤田 精次).....	55		
保險論(石名坂 邦昭).....	55		
交通論(石井 彰次郎).....	55		
商品学(塚原 博).....	55		
經營管理論(百田 義治).....	56		
労働管理(前期)(菅野 康雄)			
(後期)(石井 修二).....	56		
財務管理(野口 祐).....	56		

# 一般教育科目(共通)

## 人文分野

### 宗教学 I

袴谷 憲昭

教科書に基づき宗教学一般に関する知識を教授しながら、日本人としての宗教の問題にもあらゆる角度から突込んだ考察を試みていくことにしたい。その一環として、まず手がけたいと思っていることは、宣長の仏教批判や両部神道批判を通して、我が国の仏教や神道の体質を明らかにし、それとの関連において、宣長を批判する現今の日本学についても批判的に考察を進めていきたいと考えている。

〔教科書〕 『宗教学 I』 (更生社)

### 宗教学 I

池田 魯参

仏教や禅の文化は、現代社会でも様々な形で影響を及ぼしている。講義では、世界の諸宗教と比較しながら、禅仏教の特質を明らかにし、広く宗教の意味を考察したい。21世紀に向けて、宗教の意義が問われている今日、流動する国際的な宗教文化の状況をも視野に入れ、本学の建学の根本である禅仏教が、どのような問題解決の方法を示すことができるか、今後の展望を考察し、受講生諸君の自己究明と自己実現のために、少しでも役立てて頂ければ幸いである。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学 I』 (更生社)  
¥ 1,950

〔参考書〕 駒大宗教学会『宗教学ハンドブック』  
(世界書院) ¥ 1,400

### 宗教学 I

田上 太秀

前期は宗教としての仏教の思想と歴史をインドに限定して講義し、後期は宗教とは何かについて宗教学の立場から講義する。

〔参考書〕 田上太秀著『禅の思想』 (東京書籍)  
『仏陀のいたかったこと』 (講談社)

### 宗教学 I

吉津 宜英

まず始めに宗教学は人文科学に属する学問体系であることを確認しておきたい。つまり、これは文学や歴史などと同様に人間のあり方、人間の生き方を考えるのである。そして、この世界の中に本当に多くの宗教が歴史上出現し、また現存しているという事実は、それだけ人間存在の複雑さ、深さ、そしてその歴史の重さを表わしている。この講義は世界の諸宗教の多様性を知り、その中で仏教の立場と特色を把握していくことを目的とする。特に日本の歴史の中で仏教の果たした役割を考え、現代の我々がこの政治経済社会の中でいかにその伝統を認識するかをも問題にしたい。最後のテストの他に前後期一回づつ小論文の作成を課するつもりである。

〔教科書〕 『宗教学 I』 (更生社)  
〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』 (世界書院)

### 宗教学 I

片山 一良

宗教とは何か? その構造と機能とは何か、宗教が個人にそして社会にどう関わっているか、そうした事柄を我々の身近な例から明らかにしつつ、広く大人の人間学としての宗教学を考えてみたい。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』 (世界書院)

### 宗教学 I

末光 愛正

宗教学に対する一般的な教養知識を概説し、宗教とは何かということを講義する。後期には仏教の教義歴史を中心に進める。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）  
〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 Ⅰ（再クラス）

岡 部 和 雄

前半では宗教とは何かという問題を現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
『仏教の歩んだ道Ⅰ』（東京書籍）

## 宗 教 学 Ⅰ（再クラス）

奈 良 康 明

人間生活における宗教、仏教の意味、機能および構造を「宗教文化史」研究の枠組の中であきらかにしてゆきたい。出来うるかぎり、現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
『仏教のおしえ』（東京書籍）

## 宗 教 学 Ⅱ

永 井 政 之

宗教学Ⅰのあとを承け『禅』について、その歴史や思想を学びつつ、ますます複雑化する現代に宗教、就中、禅はどのような面でその可能性を持ちうるのか。学生諸君とともに考えてみたい。

〔教科書〕 『宗教学Ⅱ』（更生社）¥1,950  
〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 Ⅱ

伊 藤 秀 憲

インドにおける禅定、中国での禅宗の成立と発展、そして日本への流伝（特に道元禅師とその門流を中心に）と言った。禅の歴史を通観し、そこに現われた禅匠たちの生き方から、禅の人生観・人間観等を考察したい。

〔教科書〕 『宗教学Ⅱ』（更生社）¥1,950

## 宗 教 学 Ⅱ

中 野 東 禅

自己が存在するというのはどういうことだろうか。それは人間のご都合以前の実実として与えられているもの

であるといえよう。その上で自己の意識活動や人間関係がなりたっている。禅とはそうした自己存在の本質を見きわめ、そこへおちついてゆくものである。

近代の合理主義精神はここ十年ほどの諸分野におけるゆきづまり状況から、超合理的なるもの霊的なものへと逃避しようとしている。しかし、その背景には現代社会の不安や恐怖心がある。人間の合理主義で胡塗するのではなく、超合理的なる霊的世界に逃避するのではなく、存在の本質に出会う禅を学んでゆきたいものである。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学Ⅱ』（更生社）¥1,950

## 宗 教 学 Ⅱ

河 村 孝 道

日常的立場と宗教的立場における視点の相違について理解、禅仏教の立場の思想的理解、および宗教（禅）と人生との関り合いと、そこからの種々の問題について考察する。

〔参考書〕 『宗教学Ⅱ』（更生社）  
『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 Ⅱ

田 中 良 昭

宗教学Ⅰをふまえ、宗教としての禅にはいかなる特色があるか、その概要と歴史、実践の各方面から講ずる。

〔教科書〕 『宗教学Ⅱ』（更生社）  
〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 哲 学

円谷裕二・湯浅正彦

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのか自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識にも努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 論 理 学

片桐茂博・久保陽一・高橋久一郎

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむろんのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得をする。

〔教科書〕 『新しい認識への論理』（公論社）

## 倫 理 学

山 下 太 郎

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理（人生観）や世界の原理（世界観）に従った行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の獲得に努める。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 文 学

平 敏 功

開講時に指示する。

## 文 学

田 中 徳 定

「こぶとり爺」や「わらしべ長者」あるいは芥川龍之介の「芋粥」や「鼻」の素材となった話を収める説話集『宇治拾遺物語』を読み、説話文学の捉えた人間の種々相を探り、説話文学とその周辺について考える。

〔教科書〕 『宇治拾遺物語』（角川文庫）¥ 580

## 歴 史 学

木 槻 哲 夫

日本史上の、いくつかの問題を紹介しつつ、史料講読をまじえ、日本社会の発展について考察したい。教科書は特定しない。

## 歴 史 学

立 川 章 次

明治維新史の講義。江戸幕藩体制の崩壊への過程について論述し、明治政府の成立とその中央集権的統一国家形成への推移について講義する。

## 歴 史 学

久 保 田 真 継

日本の歴史発展を、中世（鎌倉・南北朝・室町・戦国）から近世初期に焦点をあわせ、とくに商業史を中心とする概説によって理解することにつとめたい。なお、とくに教科書等は指定しない。

## 社 会 分 野

### 法 学 憲 法

竹 花 光 範

一年をほぼ二分し、前半は「法とは何か」について、後半は「日本国憲法の性格と特色」について、講義を行う。

〔教科書・参考書〕 講義の中で述べる。

### 法 学 憲 法

茂 野 隆 晴

平素の日常生活のなかでは、余り意識されることがないかもしれないが、われわれは多種多様な法制に囲繞されており、ときにそれによって重大な影響を被ることも少なくない。こうした状況のもとで、正しい法知識、法的素養を身につけることは必須の要件といってよい。

法律は、ともすれば無味乾燥なものと理解されている向きがある。そこで、成べく身近な問題に照して平易に講述していく。

講義は、前半で、わが国の法制の歴史の変遷、現代国家の仕組みなどを概観したうえで、現代法の特性に及ぶ。後半では、教養としての憲法を念頭におき、現行憲法全般にわたる解釈をおこなう。

〔教科書〕 最初の授業で指示します。

〔参考書〕 適宜指示します。

## 法 学 憲 法

馬 越 道 夫

前期は憲法・基本的人権及び統治機構を、後期は民法・商法・刑法・刑事訴訟法・民事訴訟法の基本原理について講述する。抽象論は可能な限り之を避け、判例など具体例を通じて法学の基本理念を講義する予定である。限られた時間を有効に使うために予習をすること、常に「何故？」という研究心を失なわないこと、これが皆さんに対する私のお願いである。

〔教科書〕 末川博著『法学入門』（有斐閣双書）

『六法全書』

## 政 治 学

浦 田 早 苗

現実の政治を分析し、誤りなく把握する上で必要な基礎知識をとり上げる。政治学の基礎概念、政治思想、現代デモクラシーの特徴などを中心に考察していく予定である。

〔教科書・参考書〕 開講後、追って指示する。

## 社 会 学

橋 爪 敏

社会学は様々な社会現象を研究対象とし、それを人間（個人）＝集団＝社会の相互のかかわりの中で考察してゆく社会科学の一分野である。

本講義においては、これら相互のかかわりを考えるに当たっての社会学独自の概念枠組に触れつつ、つとめて現代社会が当面する諸問題にかかわらせながら講義を進めてゆく予定である。

必読文献及び参考文献に関しては、講義内容の進行に則して具体的なテーマごとに別途指示する。

〔教科書〕 安藤・児玉編『新版 社会学概論』（学文社）

## 社 会 学

岩 上 真 珠

社会学の基本的な概念である集団、組織、制度を中心に、個人と社会の関係について論ずる。講義では、できるだけ身近なテーマを取り上げながら、社会学的なものの見方を身につけてもらうことを目指す。

〔教科書〕 『テキストブック社会学(1)入門社会学』（有斐閣ブックス）¥1,200

〔参考書〕 『バーガー社会学』（学研）¥2,600

## 統 計 学

飯 塚 仁 之 助

第Ⅰ編 社会統計学の発達過程

第Ⅱ編 社会統計理論

第1章 社会統計学の意義、第2章 統計集団、第3章 大数の法則、第4章 大量観察法

第Ⅲ編 統計分析法

第1章 記述統計 第1節 平均、第2節 散布度、第3節 歪度、第4節 指数、第5節 相関

第2章 推測統計

## 地 理 学

荻 口 善 美

開講時に指示する。

## 地 理 学

玉 井 建 三

地理学は地球の内的・外的作用を総合的にとらえ、一定の法則性を見出し、それが人間とどのようにかかわりを持っているかを論考するものである。したがって、地理学の終局的目標の一つは、人間の生活様式を究明することである。特に人間が如何に自然を克服し、又はそれに適応した生活を展開しているかを具体的に地域をとらえて考察して論じてみたい。

## 文化人類学

加藤正春

文化人類学の基礎的概念、方法、理論等を講義する。各地の民族の具体的な生活事実をできるだけ紹介しながら、人類文化の多様性と、この学問の基本的視点とを理解する。日本の伝統的社会・文化の紹介もおこなう。

## 自然分野

### 自然科学概論

宇和川 正人

自然環境と資源、とくに、水資源、農林海洋、エネルギー資源の諸問題について解説する。あわせて、これら資源の開発利用と人類とのかかわりあいについて考察する。

〔参考書〕 その都度紹介する。

### 自然科学概論

吉野(漆原)和子

自然科学史・技術史を通じて、人間が自然へどのように働きかけてきたかを学ぶ。さらに現在、高度の科学・技術をもって自然へ働きかけることにより、どのような問題をかかえているかをも考察する。

### 自然科学概論

篠原正雄

古代から近代を経て現代に至る科学の歴史をたどり、自然科学の方法について学ぶ。また、今日の自然科学をめぐるさまざまな問題を考察する。

〔教科書〕 『科学史』(有信堂) ¥1,800

## 数 学

宮 寺 功

微分積分を中心として講義を行う。はじめて微分積分を学ぶ人にも十分理解できるよう、その考え方の大要を丁寧に解説する。

〔教科書〕 大学自然科学研究会『改版 大学の数学』(東京教学社)

## 数 学

斉藤浩三

科学、技術、産業、経済、社会などあらゆる分野において、膨大な量のデータが氾濫している。これらのデータを統計的手法によって整理・集約し、図表化することによって、はじめて情報として役に立つようになる。データの集計・整理、図表の作成、集団の特性、相関、分布、検定、推定、標本調査などの基本事項について、随時演習を行いながら講義する。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

## 心 理 学

森山(梅田)敏文

昨今、「いじめ」や「自殺」という問題が青少年の心の危機を象徴的に示すものとして話題になっている。このような現象は、現代が「心の時代」と呼ばれる由縁であろう。この「心の時代」をどのように生きていくかが、現代青年のひとつの課題であるといえる。

本講義では、心理学というパラダイムから、“人とは何か”について共に考え、共に問う機会をつくっていきたい。この場合、心理学の中でも臨床心理学の領域については、具体的な事例を紹介しながら、やや専門的なニュアンスを持った内容へと深まりを持たせたいと考えている。

〔教科書〕 柴田著『心の自己分析』(有斐閣)

〔参考書〕 中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

## 心 理 学

井上孝代

現代の心理学に含まれる内容としての「生理」、「心理」、「感覚」、「知覚」、「学習」、「発達」、「人格」、「社会」など、多岐にわたる分野について、図表等を用い、具体的に講義する。さらに、現代の社会風潮を鑑み、臨床的領域も講義対象とする。

〔教科書〕 中村昭之編『心理学概説』(八千代出版) ¥1,500

## 心 理 学

鈴木 順一

自己理解のために、自分自身の心や性格をみつめてみる。最低5冊以上の参考文献を読み、自己分析・自己成長記録を提出し発表しなければならない。この授業の単位を取ることは極めて難かしく主体的学習意欲が望まれる。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）

〔参考書〕 授業内で指示します。

心 理 学

園 田 健 司

心理学は環境に適応していく主体としての人間そのものを対象にし、その人間の法則性を知り、人間そのものを理解するための学問である。しかし、それは人間知ではなく、科学的認識の方法によつての理解でなくてはならない。そこで、本講では人間のもつ有機体的、心理的、社会的な3つの側面からアプローチし、現実には心的機能として多様な統一性を保ちながら行動している人間を考えてみようと思う。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）

心 理 学

坂 原 明

心理学の各分野を概観し、その基礎的知識を解説すると共に、今日、社会において心理学が担っている問題について考えてゆきたい。また、日常生活において見られる人間の様々な行動を従来研究成果をもとに解説し、心理学的なもの見方、考え方がどのようなものであるかを考えてゆきたい。講義では、随時供覧実験などを折り込み心理学的研究の雰囲気も味わってもらいたいと思っている。

〔教科書〕 中村昭之監修『心理学概説』（八千代出版）

## 随 意 科 目 ( 共 通 )

### 比較思想特講

窪 徳 忠

中国の文化、とくにその信仰・習俗のうちから道教に関連の深いと思われるものを選んで、日本で現行されている信仰・習俗との比較を扱ってみたい。地域的には沖縄や奄美地方が中心となるが、その他の地方にも言及する。なお、必要に応じてスライドを使用して、一層の理解を深める予定である。

〔参考書〕 窪『中国文化と南島』（第一書房）  
¥ 2,500

### 英 会 話 Ⅱ

J. ウェルズ・J. G. ギャリソン  
T. J. コーガン・P. A. ベンディネリイ

全学で4クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。

担任名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認し、詳しくは教場で教師の説明に従って下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

### 英 語 L L Ⅱ

T. J. コーガン・見 上 晃

英語L L Iのアドバンスト・コースとして全学で2クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語L L Iを履修しなかった学生も参加し履修できるようにしてあります。

担任名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認して下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

### ド イ ツ 語 F

栗 原 万 修

ドイツと日本に古くから伝えられてきた民話を、ドイツ語で読んでいく。ドイツの民話はグリム兄弟のものを主とする。そして民話を通し両国間の国民性のちがい等についても考察していきたい。テキストはその都度、教場にて配布する（無料）。

### ドイツ語F L L（初級）

松 岡 晋

一年次のドイツ語（1G, 1R）を修得した者を対象に、ビデオテープ等の教材を用いて、基本文型を用いた日常会話の練習をおこないます。参加者について特に条件はありませんが、毎回かならず出席し、一年間でなにかを自分のものにしてという最低限度の意欲のある者の受講を希望します。

〔教科書〕 テキストはその都度プリントで配布。

### ドイツ語F L L（中級）

松 本 洋 子

一年次のドイツ語を終えた者を対象に、ビデオやテープを用いて、基本的な文型や語彙を身につけ、日常的な会話の表現力をつけていきたいと思う。

〔教科書〕 テキストはその都度配布する。

### フ ラ ンス 語 F

加 藤 節 子

やさしいテキストを使ってフランス文学史を読む。

17世紀から始めて19世紀頃までの文学とその社会背景を概観していく予定である。時間があれば19世紀の作家、ラマルチヌ、シャトーブリアン、スタンダール、ミュッセ、ジョルジュ・サンド、バルザック、フロベール、ボードレール、ヴェルレーヌなどの作品の一部を抜粋して読めればと考えている。

〔教科書〕 プリント

### フランス語F L L（初級）

松 岡 宏 一

“Entrée Libre”を教材として用いる予定です。スライド画面とテープの音とを併用して、基礎的な表現力を養成したいと思います。会話は、音を真似ることから始められなければならないので、積極的に授業に参加し、フランス語を聞いたり話すことに慣れるようにして下さい。また、途中であきらめることなく、一年をおと

して出席し、少しでも「フランス語」の中に入りこむことができるように、希望したいと思います。テキストは教場で配布します。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

### フランス語 F L L (初級)

マドレーヌ・マルタン

初心者のための実用的なフランス語会話です。やさしい聞きとり練習や文章パターンの習得を通じて、基礎的会話に必要な表現能力を養成することを目的とします。テキストは教室で配布します。

〔教科書〕 『Sans frontière』 leçon 1より。

### フランス語 F L L (中級)

マドレーヌ・マルタン

初級会話にやや慣れた学生のための実用会話。初級会話を簡単に復習したあと、下記の教科書を使って、少し高度な聴きとり、及び表現の練習をします。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

### 中国語 F

刈間文俊

中国語を二年次まで学んだものを主たる対象とし、文学作品の講読を中心としつつ、より上へのレベル向上を目的として、耳の訓練も随次取り入れていく。辞書を必ず持参すること。ここ数年来の新しい作品を選び、中国語の学習を通して、中国を研究する意味などを語りあいたい。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

### 中国語 F L L (初級)

果 荃 英

中国語初級を終えたものを主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布する。

### 中国語 F L L (中級)

羅 濠 明

中国語FLL初級を終えたもの又は中国語を一年以上履修したものを対象とする。会話を中心として授業を進

めます。

〔教科書〕 必要に応じて教場でプリントを配ります。

### スペイン語 F

佐藤 玖美子

本講座は、1・2年で習得した知識をもとに、特に読解力の養成を目的とします。今年度はテキストとして、スペイン独特の諸諺に富んだ頓知話や奇想天外のおどけ話を集めた民話集を選びました。これらの民話を読みながら、笑いの中に含まれる教訓、そしてスペイン民衆の生活雰囲気やその感情、心意気などを味わってみたいと思います。

〔教科書〕 プリント。

### スペイン語 F L L (初級)

ホワン・ナバロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。

### スペイン語 F L L (中級)

ホワン・ナバロ

前年度L1初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

### ロシア語 F

杉山 秀子

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標とする。名文といわれる様々なスタイルのロシア語の文章に接することにより、ロシア語のもつメリハリのある美しさや力強さを味わっていただきたいと思う。

〔教科書〕 教場にて指示します。

### ロシア語 F L L (初級)

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 教場にて指示。

ロシア語 F L L (中級)

タチャーナ・バリソヴナ・野村

初級課程で得た知識を土台に更にロシア語独特な生の言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への第一歩となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

日本語 F (初級)(留学生対象)

大塚純子

本講座は昭和57年度に初めて設置された留学生のための日本語の随意科目である。日常生活における意志伝達にはさほど苦勞しないが、若干こみいった内容の聴きとりや説明、正しい表記・用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるので、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらい、その後に細目について詳しく説明する。授業では最新の日本語教育用のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

日本語 F (中級)(留学生対象)

杉山秀子

日本語 F の初級課程を終えたもの、あるいはそれと同等の学力を有する留学生を対象とし、日本語での発表能力や、表記・表現法をさらに高め、深化させていく。授業では適時、新聞・雑誌の読みあわせや、NHKの教養番組の聴きとり、ニュース解説、日本映画等のビデオ録画をとりあげて、偏りのない日本語の総合力を身につけることをめざしたい。

――一週間に一度は必ず小テストをし、レポートの提出を義務づけるので授業はなるべく休まないこと。

〔教科書〕 教場にて指示します。

# 基礎教育科目

## 経済学概説

小谷野(阿部)弘

経済学とは何であるのか。「経済学」が学問として成立した時点以来、この学問はわたしたち人間（人口として現われている）と国家との関係を取り扱ってきた。この「人口」はわたしたち個々人の物質的生活を基盤として形成されている。個々人の立場からなれば「人口」であるが、社会としてみたばあい、「国家」として、わたしたちは綜括されている。なぜそうなのか、わたしたちの物質的生活が、人間相互の、そして階級社会にあっては階級関係として展開し、国家として綜括され、さらに世界的に形成されているさまを「経済学」は考察の対象とするのである。講義は、第1部：経済学の方法について、第2部：労働と所有、第3部：国家、の体系をとる。

〔教科書〕 阿部 弘『労働と所有—経済学の出発—』  
(八千代出版)

〔参考書〕 国民文庫『空想から科学へ』(大月書店)

## 経済学概説

金子 ハルオ

大学受験というトンネルをくぐり抜けてきたばかりの諸君に、心機一転、高校の「社会科」では学べなかった「科学としての経済学」の魅力を会得してもらうことに講義のねらいをおく。そのために、経済学の原理を体系的に述べながら、他方歴史的事例を豊富に示し、また必要な余談も交えて、経済学への興味と基礎知識を得てもらうようにしたい。なお、黒板を大いに使って講義するので、各自必ず受講して、自分に適した受講ノートをつくってほしい。指定の教科書は、それさえ読めば受講しなくてもすむ本というものではなく、講義と各自のノート作成のために共通して利用すべき本というものである。

〔教科書〕 金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』  
(青木書店) ¥ 1,500

# 専 門 教 育 科 目

## 1 年次必修科目（商学科）

### 会 計 学 総 論

遠 藤 孝

「会計学」なるものを全然習ったことのない諸君も「簿記・会計」という言葉ぐらい聞き、知っているとおもう。

会計、とくに企業会計は一般に企業活動、とくに財務活動を一定の形式、内容において計算把握し、それを企業の利害関係者に知らせるものとして、あるいは企業活動を計算把握することによって経営に役立てるものとして理解されている。そして企業活動を計数的、技術的に把握するものとして複式簿記があるわけである。

この講義では会計、とくに企業会計とは何か、企業活動を把える技術的手段である複式簿記の構造、その記帳方式を理解せしめ、企業会計を規制する諸制度の概要、財務諸表についての概要などについて総論的に講義する。

〔教科書・参考書〕 講義の最初の時間に指示する。

### 会 計 学 総 論

飯 岡 透

この講義では、会計学の基礎的な理論と計算技術を総合的かつ体系的に教授する。すなわち、前半では会計学の意義・役割・歴史などを概説したのち、会計の技術的基盤をなす複式簿記の原理と記帳技術を修得し、簡単な貸借対照表と損益計算書を作成する能力を養成する。ついで後半ではわが国の現行会計制度、つまり商法会計制度、証券取引法会計制度および税法会計制度を概説し、併せて今日問題となっているインフレーション会計、国際会計、情報化社会における会計などを取り上げる予定である。

本講座は2年生以上で履修する会計学関係の諸講座の前提科目となるものである。

〔教科書〕 長谷川・飯岡・佐藤共著『企業会計の基礎』（中央経済社）¥ 2,900

〔参考書〕 同文館編『企業会計諸則集』（同文館）¥ 1,500

## 1 年次選択科目（経済学科）

### 会 計 学 総 論

加 藤 利 安

企業会計は、記録と計算の技術的体系であると同時に、今日それは、我が国の経済社会の中で一つの制度として存在している。そこでここでは、平易に解説した理論書を使用し、企業会計の役割や機能について、その入門的かつ総論的な知識の習得を目指して講義するつもりである。試験は、中間と期末と2回行う予定である。

〔教科書〕 江村稔著『企業会計総論』（森山書店）

〔参考書〕 浅羽二郎著『財務会計論』（森山書店）

### 会 計 学 総 論

竹 林 代 嘉

開講時に指示する。

## 2 年次必修・選択科目

### 経済原論 I

小谷野(阿部)弘

「資本と国家」のテーマで講義をすすめて行く。

内部：第1部 商品と資本

第2部 階級と国家

現在のわたしたちの生活の中で、一見「自由競争」に基づく価格競争や企業設立、国際貿易などが行なわれているかに見えるが、しかしまた日常的に「非自由」が叫ばれ「国家統制」がなされる。わたしたち「個人」の存在についてもそうである。これは「資本」がもっている本質からくるのであるから、今年度はこの点に焦点を当てて問題の解明を試みる。「国家資本」なども取扱っていきたい。

〔教科書〕 マルクス『直接的生産過程の諸結果』国民文庫（大月書店）、戸田武雄『現代資本主義と資本論』（白桃書房）

### 経済原論 I

金子 ハルオ

資本主義および独占資本主義の経済的構造の分析原理を体系だてて説明することにより、経済科学的に社会を見る眼を鍛えてもらうことが、本講義の内容と目的である。他方、分析原理が資本主義の歴史的発展過程と一定の不可分な対応関係にあることを示し、経済学がすぐれて歴史科学であることを明確にしたい。なお、黒板を大いに使って講義するので、各自必ず受講して、自分に適した受講ノートをつくってほしい。指定の教科書は、それさえ読めば受講しなくてもすむ本というのではなく、講義と各自のノート作成のために共通して利用すべき本というものである。

〔教科書〕 横山正彦・金子ハルオ編『マルクス経済学を学ぶ』（有斐館）¥1,800

〔参考書〕 金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）¥1,500

### 経済原論 II

浅田 統一郎

本講義では、以下の順序に従って近代経済学の基礎知識を体系的かつ平易に解説する。

#### I. ミクロ経済学

1. 消費者行動の理論
2. 生産・企業行動の理論
3. 市場均衡の理論
4. 不完全競争の理論

#### II. マクロ経済学

1. 国民所得の概念
2. 国民所得決定の理論
3. 財政・金融政策の効果
4. マクロ分配理論

〔教科書〕 稲別正晴・伊代田光彦・植田正孝『新版現代経済学の基礎』（法律文化社）

〔参考書〕 M. カレツキ『資本主義経済の動態理論』（浅田統一郎・間宮陽介訳）（日本経済評論社）

### 経済原論 II

浅野 克巳

われわれの身近に生起するごく日常的な経済問題を取り上げながら、その原因および対策を考える上で、方法となるべき経済学の諸理論を、できるだけ平易に解説してゆく予定です。したがって学生諸君は、新聞や雑誌にもよく目を通し、経済社会の現代的諸問題について強い関心と興味を持たれるよう希望します。授業は必ずしも通常の順序に従って、ミクロ理論とマクロ理論に分けて進めるという方法はとりませんが、最終的には経済学の基礎理論がマスターできるよう配慮します。

特定の教科書の代わりに、若干の資料等を利用したいと思いますが、詳細は最初の講義の際説明します。

## 経済政策

石井啓雄

この講義では、客観的過程たる経済過程と経済政策の主体たる国家の間の基本的関係をふまえつつ、第一に、資本主義社会における経済政策の展開を発展段階と関連づけて講義する。その上で第二に、主として日本の現実によりながら、現代における経済政策の主要問題について講義する。

講義はノートにより、口述を中心とするが、参考書・必読文献等については、最初の講義の際および講義の進行状況に応じて随時指示する。

## 経済史

熊岡洋一

開講時に指示する。

## 商学総論

前田重朗

〔方針〕 流通とか商業とか云われている活動ないし現象は、非常に身近なものであり、それについてまったく知識を持たない人はいないと云ってよいだろう。しかし身近な出来事であるだけに、それらについての知識を理論的に深めようとするのをしない人が多いのではないだろうか。流通・商業に従事しているとか、あるいはとくに興味を持っているというような事情からそれらについての知識が平均水準を大きく上廻る人もいないわけではないが、その場合にもその知識が理論的に深められてはいないで、一面的であることが少くない。私は、流通・商業の基礎的な理論的・歴史的勉強をすることによって、今日の流通・商業問題をより深く理解する力をつけるべきだと考えている。そしてこのような考え方から次のように講義する。

まず、資本主義社会における流通の原理を解明し、それが資本主義商業の原理であることを明らかにする。そしてこの原理が資本主義の各発展段階でどのように現われるかを、イギリス、ドイツ、アメリカという典型国を対象に考察する。各段階の代表的産業である毛織物工業、綿工業、鉄鋼業をめぐる流通・商業、食料品を中心とする日用品の流通・商業の変化がそこで考察される。このような商業の原理的、段階的（あるいは比較流通史的）考察の上に立って、わが国における流通・商業の現状分析を行う。

〔内容〕

### I 流通・商業研究の課題と方法

1. 流通・商業研究史概説
2. 流通・商業研究の課題と方法

### II 資本主義流通・商業の原理

1. 産業資本の流通過程と商業資本
2. 商業資本の自立化
3. 商業利潤と商業労働
4. 商業資本と競争
5. 商業資本の段階・部門分化  
(補) 商業資本と信用制度

### III 資本主義の各発展段階における流通・商業

1. 重商主義期における流通・商業  
——16～18世紀のイギリス商業——
2. 自由主義期における流通・商業  
——19世紀のイギリス商業——
3. 帝国主義期における流通・商業  
——20世紀のアメリカ・ドイツ商業、およびマーケティングの発展——

### IV わが国の流通・商業

——幕末期から現在まで——

(補) 社会主義商業の現実と理論

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

## 経営学総論

寺中良二

経営学には大別して企業論と管理論という二つの学問領域がある。

本年度の私の講義では、企業論の中でも、自主管理社会主義企業を中心としてその経済理論的側面について講義を展開する。資本主義企業、なかでも現代株式会社、それに社会主義国企業については、自主管理社会主義企業との関連・対比によって講義のなかで触れたい。また管理論においては、全体主義批判の思想を根底にもつアメリカの経営学者ドラッカーの組織原理や労務管理などの所説に言及する。以上二つの領域ともに、経営学という学問が、人間の幸福に少しでも役立ちうればと思う。

## 2年次選択科目

## 統計原論

吉野紀

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。できるだけ多くの時間を回帰分析の説明に当て、現実の経済現象から採られた経済デ

ータを用い、経済分析との接合に意を尽したい。いわば数量的経済分析の基礎ともいべき内容を解くことになろう。『白書』類や各種の公表されたペーパーに多用されている様々な回帰式の理解と評価ができるようになれば、本講の目的の一部は達成されたといえるであろう。

教科書 『現代統計解析』(芦書房)

## 商業史

山田 勝

現代商業の生成過程を、貿易を中心に講義する。特に商人(社)を中心にすえ、現代商業との関連に留意しつつ行なう。対象とする時代は欧米については16世紀以降日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 山田勝『近代イギリス貿易経営史(増補版)』(創成社) ¥2,300

## 簿記論

竹林代嘉

「会計学総論」において複式簿記の基本を学んでいるという前提で、授業の進行速度をやや速めたい。目標としては簿記の中級程度、すなわち商工会議所簿記検定試験2級程度を目指して授業を進める。簿記では自分で問題を解くことが大切であり、毎時間、練習帳を併せて使用する。

会計報告書は、企業活動の実態を理解するための鍵であり、経済学を学ぶ人は、基礎技術として簿記を習得しておくことが望ましい。

〔教科書〕 『簿記テキスト』および『簿記問題集』(東京簿記教育協会編)

## 財務会計論

遠藤 孝

会計学は狭義には財務会計論を指す。いいかえれば財務会計論は狭義会計学であり、会計学原理であるわけである。

一般に財務会計とは、企業活動一企業情報を、株主、債権者、労働組合など企業をとりまく利害関係者に報告・伝達する役割をはたす会計といわれている。この情報伝達の手段となるものが貸借対照表、損益計算書などの財務諸表であり、したがって財務会計論は財務諸表論としての性格もっている。

いうまでもなく企業は社会的に重要な役割をはたしており、利害関係者も増大していて、社会性を高めている。したがってこれら企業の活動(情報)を伝達する財務会計についても、商法、税法、「企業会計原則」など種々の規制が加えられている。そしてこの社会的規制の内容に

よって財務会計の内容、性格は大きく変ることとなる。

この講義では、財務会計とは何か(その社会的意味・役割)、これを規制する企業会計制度の構造、役割、各国会計制度との比較、会計計算の構造、貸借対照表、損益計算書、連結財務諸表などの財務諸表の性格、内容などについて講義する。

参考書などは講義の最初の時間に発表する。

## 憲法

斉藤 寿

この講義は、憲法の「しくみ」と「はたらき」について、経済学部の学生向きに、興味深い講義を続けながら楽しく行ないます。

前期には、「人権の“しくみ”と“はたらき”」について、後期には、「統治の“しくみ”と“はたらき”」について、講義します。

これらの前・後期の講義は、一年を通じて、極めてユニークに、そして楽しい雰囲気の中で行なわれます。

〔教科書〕 拙著の中から、開講の際、選択・指示します。

## 民法一部

山崎敏彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことによって、よりよく理解していただけるよう努めたい。

聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法I』(一粒社)

## 3・4年次選択科目

### 経済学史 I

福原好喜

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体

系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の生誕までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。

## 経済学史Ⅱ

有井行夫

今日の経済理論にただようある種の無力感は、あらゆる意味で資本主義が爛熟しているにもかかわらず、そこからの現実的出口をマルクス経済学も近代経済学も有効に示していないことによっています。「経済の政治化」と「自然の有限化」とを現代の2大制約ととらえ、これを解決する経済学の可能性について、経済学によってたつ社会システム観の射程をふりかえることからとらえなおしてみます。内容は以下のとおり。

- 第1章 経済学史の意義——現代経済学の課題と理論の「色眼鏡」の機能
- 第2章 対象としての市民社会の特殊的性格
- 第3章 理論「色眼鏡」の3つのパターン
- 第4章 ヘーゲルからマルクスへ
- 第5章 矛盾論的システムとしての『資本論』の世界
- 第6章 マルクス体系の「色眼鏡」チェンジ——ヒルプァディングとレーニン
- 第7章 限界革命論の社会システム観
- 第8章 現代資本主義論争の基本的性格

〔参考書〕 授業中に挙げます。

## 価格理論

荒木勝啓

利潤および利潤率が価格といかに関わっているかを通じて、「分配と価格」の問題を考えていきたい。講義は次の順序で行なう。

- 1. 利潤と利潤率
- 2. 古典派における利潤率と価格
- 3. 新古典派における利潤率と価格
- 4. 「資本」の問題
- 5. 一般均衡モデルの中の利潤の問題

## 国民所得論

吉野紀

本講は現代マクロ経済理論の内容を経験的検証と具体的な政策への応用に言及しつつ体系的に解説することを目的とする。主たる関心の対象は家計・企業等の集計

部門であり、政府や海外部門を取り込んだ国民経済全体である。これら諸部門の経済活動水準がどのように決定され、また相互に影響し合うのかを解き明かすことによって、生きた経済現象を捉えて止まない姿としてとらえることができれば目的の過半は達成できたといえる。相互的関連の全体像を描くためにはIS-LM分析が教育的効果を依然持ち続けているので、早い時期にこれを扱い、徐々にこの枠を崩しながら現実の日本経済への応用力を高めてゆきたい。

## 景気変動論

西村允克

景気循環とは、全体としての経済が「好況」と「不況」という2つの現象を交替的かつ周期的に繰り返すことである。この現象を理論的、歴史的、統計的に説明することが、景気変動論の内容である。現代の景気変動論では、景気変動をGNPの変動として把握するから、講義はマクロ経済学の基礎を簡単に述べ、この基礎の上に主要な景気変動理論を述べていく。

講義は基礎的な考え方に重点を置いて進められるから、この点をしっかり把握すれば、講義内容は極めて平易なものであるが、この点の把握が十分でないと、講義はむずかしいと感じるであろう。

## 日本経済史

古庄正

日本経済史の研究対象は広範であるが、本年度は産業革命期の諸問題を中心に講義してみたい。

### 講義要綱

- (1) 産業革命の本質と類型
- (2) 帝国主義世界体制の確立と経済政策
- (3) 産業革命の展開とその特質
- (4) 産業構造と外国貿易
- (5) 地主制の確立
- (6) 労働者階級の成立と初期労働運動
- (7) 植民地圏の確保と帝国主義への転化
- (8) 天皇制国家の確立
- (9) 独占段階への移行

〔参考書〕 石井寛治『日本経済史』（東大出版会）  
¥1,900

## 経済地理

上坂修夫

経済地理は、経済諸現象の地域的分析を行う学問である。この講義では、経済現象をいかに地域に即して見るか、また、各地域をいかに全体の経済的構造の中で捉え

るかという目を養うことをめざしながら、具体的な各地域の経済的变化と現状の分析を通じて経済現象の地域的構造について学習していく。特定のテキストは使用しないが参考文献についてはその都度指示する予定である。

## 国際経済論

徳永俊明

資本主義世界経済の歴史と第2次世界大戦後の資本主義世界経済の主要な問題についての基本的事項の解明、整理をめざします。講義内容はつぎのとおりです。

- I 資本主義世界経済の歴史（時期区分と各時期の特徴・歴史的位置づけ）
- II 第2次世界大戦後の資本主義世界経済（歴史的位置と基本構造、貿易、国際通貨制度、資本輸出—「援助」・多国籍企業、新植民地主義、「南北問題」と新国際経済秩序、資本主義世界経済の危機、日本経済と世界経済、その他）

〔教科書〕 徳永俊明『世界経済と第3世界』（大月書店）1986年4月刊行予定

## 農業政策

浅田喬二

本年度は旧植民地（台湾、朝鮮、「満州」）における日本人大土地所有の検討を行なう。日本人地主は植民地農村の民族的・階級的支配者であり、また、日本帝国主義が植民地を支配するための社会的支柱であった。講義の重点を、(1)日本人の地主化過程、(2)小作制大農場の経営内容、(3)日本地主制の植民地型の特質、(4)日本農業と植民地農業の関係、(5)日本ファシズムと農業・農民問題、(6)満州農業移民論、の解明に置く。

参考文献は講義の最初の時間に知らせる。

〔教科書〕 浅田喬二『日本帝国主義と旧植民地地主制』（御茶の水書房）¥2,500

## 工業政策

剣持通夫

戦前、戦後の世界主要産業の形成、構造、発展および衰退に関する歴史的、経済的諸条件と諸過程を明らかにし、その産業を動かす本質を学びながら、経済発展の法則を体系的に知るという工業経済論を主体とし、将来の産業構造の在り方を研究するものである。その講義内容は、第1章 工業経済の意義（産業経済の意義、産業構造、産業組織、市場構造、価格理論、寡占理論、産業理論）。第2章 世界主要産業の成立と発展。第3章 世界主要鉄鋼業の成立と発展。第4章 転換期の世界経済と産業構造の変化。以上を講義案によって実施するが、参

考文献はその都度指示する予定である。

〔教科書〕 剣持通夫著『工業経済講義案其ノ一（歴史篇）』（東洋大学内井上書店）

〔参考書〕 剣持通夫『日本鉄鋼業の発展』（東洋経済出版）

『日本の産業政策』（東大出版会）

『企業戦略とテクノロジー』（東大出版会）

## 財政学

西村紀三郎

現代のもろもろの財政問題打開の処方箋を書くための論理を具体的な状況理解の下で考えたい。そのために、

- (1) 財政学の発展過程を概説し、その間の財政問題を解説して、財政学が当面している諸問題を提示する。
- (2) 財政学で通常とりあげる原理、原則、法則等を概説し、その現代的意義を検討する。原理は今も妥当か。
- (3) 財政活動の理論的整理把握のため、財政の現実体の理解を図る。財政の制度、歴史、現状等を解説する。
- (4) 財政の理論、制度、歴史、実体の理解にもとづいて財政政策の課題を求める。財政再建は政策課題か。
- (5) 財政再建が唱えられてから久しい。財政再建は果し緊急な財政政策の課題なのだろうか。

〔参考書〕 肥後和夫編『財政学要論』（第3版）（有斐閣）

西村紀三郎『財政学新論』（第二増補版）（税務経理協会）

## 金融論

渋谷隆一

金融論は、信用論を基礎としながら、資本主義の発展段階に応じて信用形態、制度、政策がどのように変化するかを究明する学問である。

本年度は、金融制度とりわけ銀行および庶民金融制度を取り上げる。もっとも金融制度といっても、先進国と後進国とではその発展の態様を異にする。そこで先進国イギリスと後進国ドイツ、日本の相違を念頭におきながら、その性格と機能の変化を中心に講義を進めてゆく。

〔教科書〕 教場で指示。

## 国際金融論

斉藤寿彦

外国為替および国際通貨の理論と歴史と現状を中心にして講義する。講義の内容は次のとおりである。

### I. 外国為替論

1. 外国為替の仕組（外国為替の定義と種類、外国

為替銀行の業務)

2. 外国為替相場論(外国為替相場論の成立と展開)

## II. 国際金融市場論

1. 国際金融市場の機構

2. 各国際金融市場の構造

## III. 国際通貨論

1. 国際通貨の理論

2. IMF体制の成立と旧IMF体制の崩壊

〔教科書〕 小野朝男・西村閑也編『国際金融論入門』  
(有斐閣) ¥ 1,800

## 銀行論

本間靖夫

貨幣と銀行に関するあらゆる経済現象を科学的に解明する学問が銀行論ですから、その対象は広範囲にわたりますが、講義は以下の4点を中心に行います。

- (1) 貨幣の理論と歴史
- (2) 近代的銀行の成立についての基礎理論
- (3) 銀行の業務と銀行制度
- (4) 銀行経営の理論と実際

〔教科書〕 講義中、適宜指示します。

## 社会政策

光岡博美

社会政策とは資本主義社会で発生する労働問題を体制の枠内で解決しようとする諸施策やイデオロギーの総体を表わす言葉として使用されている。本年度の講義では、社会政策の発祥の地であるドイツの社会政策思想、及び、それを受容した戦前日本の社会政策について説明する。また後期においては、賃金や労働条件が労使の自主的な団体交渉によって決定されるような労働問題処理の制度的枠組が成立した戦後の時代を対象とし、戦後日本における労使関係の史的展開についての講義を行うこととする。

〔参考書〕 教場で指示する。

## 労働経済論

山下不二男

労働経済の理論、現状分析を戦後の日本の変化に焦点をおいて説明する。講義は、(1)序論 (2)労働市場 (3)雇用と失業 (4)賃金の4つの分野に分けて行う。(1)では労働問題と労働経済学、労働経済学の体系などの序論的問題、(2)では労働市場の構造、労働組合と労働市場、日本の労働市場の特徴など、(3)では労働力の供給、労働需要の変動、失業と雇用対策など、(4)では賃金の意義、賃金水準の決定要因、賃金と団体交渉、賃金構造、日本の賃

金の特徴とその変化など、の問題が取扱われる。

〔教科書〕 山下不二男『日本労働経済概説』(日本労働協会) ¥ 1,700

## 中小企業論

大林弘道

日本経済の発展が、大企業の経済行動によって駆動されていると考えて間違いない。しかしまた、大企業は、中小企業を動員し利用することなしには、経済成果を自らのものとすることもできないし、存立もあやしくなる。それゆえに、日本経済の展開は、中小企業をめぐって固有の問題と矛盾を持つことになる。本講義は、石油危機以後の低成長期における諸産業の状況を、大企業・中小企業関係を軸に、「過剰」と「調整」の視点から、具体的に考察することにする。ただし、講義は、専ら問題の所在を明らかにすることにし、分析的深化については、関連する文献・資料を紹介して、受講者に委ねることにしたい。

〔教科書〕 佐藤芳雄編著『ワークブック中小企業論』  
(有斐閣) ¥ 1,200

車戸実編『基本経営学全集 第12巻 中小企業論』(八千代出版) ¥ 3,200

〔参考書〕 中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕

## 人口論

森岡仁

経済学の立場から人口に接近しようとするのがこの講義の特徴である。現実の経済と人口との関係は歴史的にみて人類がこの地球上に出現した時期にまで遡りうるわけで、従って経済学においても非常に早い時期から人口が論じられてきた。この講義では日本を含む世界全体の人口について、古くは人類の起源から、新しきは現在われわれの眼前に展開する人口現象にまで論及し、その間、学としての経済人口学がどのような発展過程をたどってきたかを詳論する。そして最後に、以上の議論をふまえて人口政策を論ずる。

〔教科書〕 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)  
¥ 2,800

〔参考書〕 マルサス, T.R. [森岡他訳]『人口論』  
(中大出版社) ¥ 15,000

## 教育経済論

谷敷正光

経済発展に教育の果たした役割とその意義について考察する。特に、本年度は、戦後日本資本主義発展と産業教育を中心に講義する予定である。

朝鮮戦争を契機に復活した日本独占資本の産業教育要求とそれに対応した政府の経済政策、教育政策を日本資本主義発展との関連で概観し、戦後の教育政策は産業教育政策として国家、資本の要求にしたがってたえず変化し、支配化されていることを考察する。

- 〔教科書〕 豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』（東大出版）  
『中教審と教育改革——財界の教育要求と中教審答申——』（三一書房）
- 〔参考書〕 高浜介二『現代資本主義の発展と教育』（汐文社）  
石井公一郎『経営者からの教育改革案』（築地書房）  
加藤栄一『情報国富論—産学官協同への展望』（TBSブリタニカ）  
H・シュルスキー（溝川良一訳）『産業社会の学校と教育』（有信堂）  
本庄良邦『産業教育体制論研究』（三和書房）

## 日本経済論

森 武 磨

日本における国家独占資本主義の成立と展開を歴史的に明らかにする。1920年代の独占資本主義の成立から、1930年代の国家独占資本主義への移行、戦後改革と資本主義の再編、1960年代の高度成長の過程を追いながら、現代資本主義の歴史的諸条件を考察する。これによって現代資本主義の強さと弱さ、労働者や農民の生活変化、日本の権力の特殊性がどのように形成されてきたのかをできる限りわかりやすく説明してみたい。

## アジア経済論

小林 英 夫

この10年、アジアは急激にかわった。この間の急激にしてかつ複雑な変化を一言でいえば、急速なアジアの“近代化”とその“近代化”をおし進める過程で生みだされた日本とアジアの“緊密化”ということになるか。今年度の講義では、1960年代以降今日までのアジアの歴史と現状を回顧しそのなかにふくまれている問題点を検討する。

- 〔教科書〕 小林英夫『玉砕の島、繁栄の島』（有斐閣）¥1,000

## 中国経済論

小 杉 修 二

中国の人口は10億人である。即ち、世界の4人に1人

が中国人である。この国は社会主義を標榜し、超大国たらんとする隣国であることによって、世界の中で一定の位置を占め、我国との関係も少なくないものがある。

本講義では、中国のめざしてきたものと中国経済の実態について論じるが、本年度は、中国の社会主義建設が、ソ連モデル、毛沢東モデル、「中国モデル」と三転してきた、その各々の特徴について論ずる。また、それらのモデルが採用され、変遷してきた理由を、(1)中国の採用した国家目的 (2)歴史的条件 (3)地理学的条件の3つの組合せとその変化から説明する。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

現代資本主義世界の支柱としてのアメリカの経済事情をわかりやすく解説する。アメリカの経済・社会の全般の特質、農業から先端部門にいたる諸産業のあらまし、金融資本の実態、軍産複合体の問題、貿易、通貨、対外援助、さらに多国籍企業など、1講義ごとに1テーマをとりあげ、おおよそのことを網羅する。日米摩擦のような今日の問題についても、極力ことの本質にせまる。この講義の特徴は、ヨーロッパの時代との対比でアメリカの時代をとらえたり、ソ連との対抗のなかにあるアメリカを考えたり、複雑に変化する日本との関係でアメリカの問題をえぐるといった具合に、歴史的かつグローバルな視点を重視するところにある。各自がよく考え、バランスのとれたアメリカ観、世界観を獲得するための素材をふんだんに提供することが講義のねらいである。それゆえ教科書は使用しない。なお、詳細は資料にもとづき、よりふかめて学習したい者は、私の原書講読とあわせて履修することをすすめる。

## ヨーロッパ経済論

清 水 卓

第2次大戦の戦後復興を1950年代の初頭に完了した西欧諸国は、その後、冷戦体制の下で、経済の「高度成長」の過程に入る。IMF・GATT体制の一環として西欧諸国間の金融協力、貿易自由化が進展する。西欧諸国は各々独自の仕方で経済成長政策つまり経済の重化学工業化、経済近代化政策を追求する。EEC共同市場の形成が、このような過程を促進した。

だが、1960年代末からのスタグフレーション、国際通貨危機、資源問題の深刻化によって、西欧諸国は経済危機に陥る。EC諸国は、こうした危機をどのように打開していくのであろうか。第2次大戦後の西欧諸国の経済を分析する中で明らかにしていく。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

## ソヴィエト経済論

山 縣 弘 志

ソ連邦は第11次五カ年計画期に入っているが、社会主義経済の前途は平坦ではない。80年代の情勢とソ連経済60年の歴史は、我々に常に社会主義の原点に立ち帰り、科学的なアプローチを心懸けることを要求している。

〔教科書〕 講義の中で指示する。

## 商業政策

安 藤 政 武

我国における商業政策の展開を資本主義経済の発展の中に位置づけて歴史的に概観することを重ね合せつつ、主として戦後日本におけるいわゆる流通政策の展開を高度経済成長政策を含む我国の経済政策全体の中で位置づけて重点的に講述すると共に、欧米先進資本主義諸国における流通経済と流通政策との発展についても可能な限り視野に入れた論及を試みる。商業政策ないし流通政策の形成過程における企業集団や業界団体や官僚機構や議員連盟の役割を実証的に分析すると共に、国民生活重視の観点からいわゆる消費者政策との関連性をも視野に入れた検討を試み、消費者問題、消費者運動、消費者行政についても論及する。参考書や資料は講義中提示する。

## マーケティング

曾 我 信 孝

現代社会の矛盾点をマーケティングの側面から分析する。その展開は、1つめに矛盾点を明確にするための分析をする。2つめにその矛盾点がマーケティングとどう関連しているかを検討する。3つめにマーケティング政策が社会的にどのような影響を及ぼしているか、批判的な側面から考察する。4つめに勤労的消費がどのように収奪されているかを明確にする。

「矛盾点」は一応分配の不均衡に置いている。したがって、独占産業資本のみならず、独占商業資本の消費者支配のメカニズムも分析対象にする。

〔参考書〕 講義中に適宜紹介する。

## 貿易論

古 沢 紘 造

日本の穀物自給率は33%で先進工業国中最低ですが、日本の工業品の輸出攻勢に起因する対米貿易の不均衡を是正するという理由で農産物のさらなる輸入を要求されています。一方東南アジアなどの発展途上国からは、日

本は一次産品を主に輸入するだけで工業品を買ってくれないという不満の声が高まっています。本講義ではこうした現代の日本の貿易問題、対外経済関係について取り上げ、日本と世界（欧米、第三世界）の経済的かかわりを深く掘り下げて考えてみることにしたいと思います。

〔参考書〕 授業の進度に合わせて、そのつど紹介したいと思います。

## 証券市場論

澤 田 精 次

証券市場を広く金融市場の一環として捉え、その経済的役割、仕組み、歴史などを、国際的観点を交えて考究する。

〔参考書〕 『図説 日本の証券市場』（財経評報社）  
¥ 1,300

## 保険論

石 名 坂 邦 昭

保険はわれわれの経済生活になくはならない経済施設であり、その歴史は古く、企業活動や家計経済と深く結びついている。保険は企業危険の移転策として、機関投資家として、さらには家計の安定をはかるものとして広く活動している。本講義においては保険の本質、保険の意義、保険の歴史を把握し、さらに生命保険、損害保険、社会保険等につきわしくみて行くことにより経済学の一分科としての保険、さらには経営学の一分科の保険を明確にして行きたい。

〔教科書〕 姉崎他『講案保険総論』（法律文化社）  
¥ 2,200

## 交通論

石 井 彰 次 郎

交通の概念より始めて、資本主義経済の下における交通をめぐる諸問題の理論的・歴史的解明をする。

〔教科書〕 講義において指示する。

## 商品学

塚 原 博

商品学の対象、研究方法から始め、商品学の歴史、商品の分類、商品の品質、鑑識、貿易と商品、商品と関税、商品と法律等を論じ、企業における商品政策（特に新製品の開発と技術・特許・ノウハウ・商標などの諸問題）

を述べ、更に消費者の立場から見た商品について考察する。次に個々の商品について—食系商品・衣系商品・住系商品・化学商品・機械商品（家庭電器、コンピューター、自動車、工作機械、産業機械など）、重要輸出入商品、先端技術商品（ニューセラミックス、形状記憶合金、アモルファス合金、超電導材料、高分子材料、複合材料、光ファイバー、新加工食品など）を実例によって具体的に学んでゆく。

〔参考書〕 上坂西三『商品学概論』（同文館）

## 経営管理論

百田 義治

一般的には、経営管理とは経営目的達成のための経営者の実践活動それ自体であり、具体的には<計画・指導・統制>の機能、そのための<技術・準則・手法>が経営管理の内容であるとされている。しかし、我々にとって経営管理論を学ぶ意義は、経営管理の技術・技法それ自体を学ぶだけでなく、現代企業におけるその歴史的、社会的特質の解明、その意義と限界を学びとることである。したがって、本講義の課題も、生産、販売、財務、人事・労務、事務などの諸部門管理と最高管理（トップ・マネジメント）で形成される現代企業の経営管理の構造と機能を現代資本主義の特質との関連において科学的に把握することにある。

〔教科書〕 W.G.スコット他『組織理論』（八千代出版）

## 労務管理

（前期）菅野 康雄  
（後期）石井 修二

主として企業内において多角的な行動をする「人間」の問題を対象とする。その柱となる主たる問題は、人事管理、人間関係および労使関係である。労働科学、労働経済、人間工学等の諸科学からのアプローチも重視し、かつわが国の現実の諸問題や事例をとり上げながら以下の諸項目を中心として講述したいと思う。

1. 労務管理の目的と対象
2. 労働市場と雇用問題
3. 賃金・報酬問題
4. 労働時間
5. 人間関係
6. 労使関係

〔教科書〕 開講時に指示する

〔参考書〕 菅野康雄著『経営労務管理論』（杉山書房）  
菅野康雄著『経営者報酬制度』（千倉書房）  
菅野康雄著『経営者報酬制度の発達と構造』（千倉書房）

## 財務管理

野 口 祐

開講時に指示する。

## 原価計算論

加藤 利安

原価計算は企業会計の一領域を形成している。昨年度に続き本年度は、我が国の『原価計算基準』（原価計算制度）の内容を中心にして、原価計算の目的、役割、機能について講義するつもりである。またその際に、原価計算の発達や展開についてもできるだけふれることとする。試験は、中間と期末の2回行う予定である。

〔講義内容〕 総論、原価、原価の費目別計算、原価の部門別計算、総合原価計算、個別原価計算、標準原価計算、損益分岐点分析と直接原価計算、企業予算、経営意思決定と増分分析。

〔教科書〕 諸井勝之助著『原価計算講義』（東大出版会）

〔参考書〕 授業中、適宜掲げる。

## 会計監査論

飯 岡 透

財務諸表監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて監査人が意見を表明することにあり、企業規模の拡大及び企業活動の複雑化に伴い、近年その役割はますます重要になっている。

本講義では、わが国をはじめ、英・米・西独の監査制度、監査役と会計監査人、監査証拠、個別財務諸表・連結財務諸表・中間財務諸表の監査手続、監査報告書などについて教授する。

さらに、時間が許せば、営業報告書、後発事象、粉飾決算、限定監査などにも言及したい。

〔教科書〕 飯岡透著『株式会社会計監査論』（創成社）¥2,900

〔参考書〕 飯岡透編『会計監査講義必携』（創成社）¥490

## 管理会計論

中原章吉

会計学とは何かという考察の上で管理会計が財務会計との関連のうえでどのように位置づけられるのか。そして、管理会計とはどのような基礎のうえに成立しているものなのかを検討することから始めて、管理会計の内容に入っていく。とくにこの講義では企業における財務諸表分析と付加価値会計を内容としてとりあげていく。OAやメカトロニクスそして産業用ロボットによって第2の産業革命がさげばれているわが国の企業経営の中で、会計は、そして付加価値会計はどのように対応していくのか。また、欧米など諸外国の企業経営の中での会計の現状や歴史と、わが国との関連も考慮に入れて講義を展開していきたい。

〔教科書〕 中原章吉著『企業付加価値会計論』（中央経済社）¥ 3,000

〔参考書〕 学年始めに指示する。

## 民法二部

青野博之

民法典のうちの第3編「債権」（399条～724条）を本講義の対象とする。むらなく話すことは不可能であるし、またその必要はないと思う。少なくとも、この程度のことは知っていてほしいし、理解してほしいと（私が）思っていることを講義する。実際には、売買契約、賃貸借契約、不法行為（たとえば交通事故）が中心となる。受講生が多くなければ、私から質問をしながら、講義をしたい。もちろん、私から質問をする以上は、受講生からの質問も大歓迎である。少し勇気が必要かもしれないが、わからないことがわかったような気がするときの瞬間を楽しみにして、質問をしてほしい。

〔教科書〕 我妻栄・有泉亨著『民法2 債権法』（一粒社）

## 商法一部

山田泰彦

営利追求の手段である会社が成文法として法典に登場するのは、1807年のナポレオン商法典をもって嚆矢とする。しかしナポレオン商法典は、第18条乃至第46条までの僅か297条を有する体系の中で会社を規定したにすぎない。現在、株式会社は、企業活動の基本的かつ重要な単位として、複雑・膨大な法体系により規定されている。本講義では、株式会社法を中心に、株式会社の基本的体系をできるだけ明らかにする。

## 商法二部

関口雅夫

商法Ⅱは、商法学のうち、「商行為法」および「手形小切手法」を、主要な対象としている。

本講座は、平易は旨とし、商法Ⅱを、論理体系的にかつ判例を通じて実践的に理解し、その基礎的知識の修得を目的とする。

〔教科書〕 野津 務『商法講義』（商行為法）  
（中央大学生協出版局刊）

野津 務『商法講義』（手形法・小切手法）  
（中央大学生協出版局刊）

## 労働法

深谷信夫

終身雇用制・年功賃金制、企業別労働組合などと特徴づけられた「日本の労使関係」は、除々にその内容を変化させてきている。

近年の労働政策・労働立法は、そうした方向を、行政的立法的に促推させているといえよう。男女雇用機会均等法・労働者派遣法がその代表的なものである。

講義内容は、以上のような動向を視野に入れ、労使関係と労働法、労働法の構造、集团的労使関係と個別的労使関係法の主要問題を中心に行なわれる。

〔教科書〕 外尾健一著『新版労働法入門』（有斐閣双書）

## 経済法

江上 勲

資本主義が高度化した段階の国民経済は、極度に多様化・分業化した機能を持つ経済主体間の調和は、古典的自由放任主義の経済政策では自動的に達成しがたくなる。経済法は、このような経済社会のなかで基本的に市場経済を維持しながら経済の流れに必要なに応じて国家が介入して全体の調和的發展をはかるための諸種の法から成る。本講座は、かかる経済法の中核をなす独占禁止法の意義を明らかにしたのち、その概要を説明する。講義に当たっては基本的事項の理解に努める。

〔教科書〕 江上勲『経済法・独占禁止法概論』（税務経理協会）¥ 3,000（学生割引あり）

原書講読(英)

浅田 統一郎

近代経済学の文献を読むために必要な英文の読解力を養うことを目的として、下記のテキストを講読する。講義は輪読形式で進めるが、特殊な専門用語については、随時解説する予定である。意欲ある受講者の参加を期待する。

尚、本書は、経済主体間の利害の対立および調整を分析する「ゲームの理論」(Theory of game)の入門的解説書である。

〔教科書〕 E. Roy Weintraub『Conflict and Cooperation in Economics』  
(Macmillan)

〔参考書〕 長谷川啓之編『英和英経済用語辞典』

原書講読(英)

浅野 克巳

以下の英文テキストを使って、読解力の養成と経済学の基礎理論の勉強を目指す。

〔教科書〕 R.G. Lipsey, P.O. Steiner and D.D. Purvis『Economics 7th ed (Harper International Edition)』

原書講読(英)

加藤 利安

原価計算について書かれた論文、資料を読みます。主として英文のものを使用しますが、独文のものを読むことも考えています。一つの論文、資料を読み終えましたら、その都度、内容を要約したレポートを提出してもらいます。また、出席を重視し、毎時出欠席をとりまします。取上げる論文、資料につきましては、コピーして配布します。

原書講読(英)

小林 英夫

今年度は、Robert. A. Divine, Since 1945をテキストに戦後の日本とアジアの経済的・政治的特徴を検討する。テキストと同時に、そのつどNew York Times, Wall street journalの日本関係の記事を読むこととする。

原書講読(英)

斎藤 正

本年度は下記のテキストを使用し、スタグフレーションについて考える。尚、テキストはコピーして配布する。  
〔教科書〕 John Cornwall『After Stagflation Alternatives to Economic Decline』  
(1984)

原書講読(英)

有井 行夫

Antony Cutler他著, Marx's Capital and Capitalism Today, 第1巻第3章Classes and the Structure of the Social Formationを輪読しながら、マルクス経済学の歴史観の有効性について考えてみます。毎週全員にレポートを求めます。教材はこちらでコピーして配布します。

原書講読(英)

瀬戸岡 紘

現代の資本主義経済の諸事情、なかでもアメリカのそれについて調査された英語の資料(Survey of Current Business, ほか)をいくつか検討する。この講座は、私の主要講義——アメリカ経済論——では時間的に十分あつかいきれない詳細な研究を準ゼミ形式で補足しようとするものなので、この講義とあわせて履修することをすすめたい。文献は随時選定して配布することとし、授業では、原文資料の内容理解を助力すべく、さまざまエピソードをもちこむなど工夫し、英語に自信のある者にとっても自信のない者にとってもそれぞれに興味をひきだせるようにするつもりである。

原書講読(英)

曾我 信孝

マーケティングおよび流通関係の雑誌等から適当な論文を選択して講読する。授業の方法は、授業時間のうち約半分の時間を受講者に訳してもらい、残り時間を全員でその内容についての討論を行います。したがって、討論を充分できない方、およびマーケティング、流通関係に興味および知識のない方はご遠慮願いたいと思っています。なお、文献については適宜当方で指示致しますので、各人で準備していただきます。

〔参考書〕 『マーケティング用語辞典』『流通関係用語辞典』

原書講読(英)

百田義治

現代企業の構造と機能(経営管理)に関する文献を講読する。

〔教科書〕 テキストは、コピーして配布する。

原書講読(英)

古沢紘造

現代アフリカの社会、経済に関する文献(英語)を輪読する。アフリカは世界で最も遅れた大陸といわれているが、「人間の生活そのものの豊かさ」からみたらどうだろうか。第三世界に対する私たちの考え方の底にある偏狭で独断的なものを見つめなおしてみたい。

原書講読(英)

光岡博美

欧米の労働問題、労使関係論に関する文献を読むこととする。使用する文献については最初の講義で配布する。

原書講読(独)

福原好喜

カール・マルクス「資本論」(ドイツ語)を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになる。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君からの希望があれば、夏休みなどに泊り込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。(毎年夏休みに私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので今年度は彼らと交歓の会が持てたらと思っている。)

原書講読(フ)

清水卓

E Cの共通農業政策に関する研究書を英語で読んでいきます。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

原書講読(中)

小杉修二

経済改革、対外開放政策にとりくむ中国経済の問題点を論じた、許毅『調整期中の中国経済』を読む(中国語)。

〔教科書〕 プリントして配布する。

原書講読(ス)

徳永俊明

<スペイン語>— 資本主義世界経済に関する文献を読みます。予習を徹底してもらいます。また、毎回日本語訳文の提出を義務づけます。

テキストは教場で配布します。

原書講読(ロ)

山縣弘志

ソ連経済に関する平易なリーダー読む。

〔教科書〕 Вячеслав Стороженко, Беседы советской экономике. Москва, 1980.

簿記論

川口修

開講時に指示する。



## 教 職 お よ び 資 格 講 座

教 職 課 程  
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座  
博 物 館 学 講 座  
社 会 福 祉 主 事 講 座  
社 会 教 育 主 事 講 座

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講出来る課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座の履修要項」を参照）

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座	全 学 部
博 物 館 学 講 座	文 学 部 ・ 仏 教 学 部
社 会 福 祉 主 事 講 座	全 学 部 （ 59 年 度 入 学 生 より 適 用 ）
社 会 教 育 主 事 講 座	文 学 部 ・ 経 済 学 部 ・ 法 学 部 ・ 経 営 学 部



## 目

## 次

教育原理(磯野 昌蔵)……………	1	政治学原論(上野 末夫)……………	7
教育原理(上岡 安彦)……………	1	民法 I(山崎 敏彦)……………	7
教育原理(村山 輝吉)……………	1	哲学特講 I(東洋)(篠原 壽雄)……………	7
教育原理(坂本 信昭)……………	1	哲学特講 II(西洋)(國嶋 一則)……………	7
教育原理(北村 三子)……………	1	宗教学特講 I(松田 文雄)……………	7
青年心理学(大浜 幾久子)……………	1	宗教学特講 II(脇本 平也)……………	8
青年心理学(藤崎 春代)……………	1	宗教学特講 III(洗 建)……………	8
青年心理学(牟田 悦子)……………	1	教育史(磯野 昌蔵)……………	8
青年心理学(渡辺 三和子)……………	2	宗教教育(櫻井 秀雄)……………	8
教育心理学(大浜 幾久子)……………	2	教育関係法規(船木 正文)……………	8
教育心理学(藤崎 春代)……………	2	図書館学 I(山崎 慶子)……………	8
教育心理学(中村 均)……………	2	図書館学 II(源 昌久)……………	8
教育心理学(荻野 美佐子)……………	2	博物館学 I(倉田 芳郎)……………	8
教育心理学(渡辺 三和子)……………	2	博物館学 II(熊野 正也)……………	9
道德教育の研究(坂本 信昭)……………	2	博物館実習 I(館務)(倉田芳郎・清水潤三)…	9
教育実習(磯野 昌蔵)……………	2	博物館実習 II(収集)(倉田芳郎・所理喜夫	
教育実習(上岡 安彦)……………	2	葉貫磨哉・太田喜美子)…	9
教育実習(村山 輝吉)……………	3	博物館実習 III(見学)	
教育実習(坂本 信昭)……………	3	(倉田芳郎・太田喜美子)…	9
教育実習(北村 三子)……………	3	博物館実習 IV(特講)(58年度以前入学生適用)	
国語科教育法(神谷 道倫)……………	3	(熊野 正也)……………	9
書道科教育法(谷村 義雄)……………	3	視聴覚教育(赤堀 正宜)……………	9
宗教科教育法(松本 皓一)……………	3	日本文化史 II(圭室 文雄)……………	9
英語科教育法(大沢 一雄)……………	4	印度仏教文化史(奈良 康明)……………	9
社会科教育法(地理)(高木 久)……………	4	西洋文化史 I(椽川 一朗)……………	10
社会科教育法(地理)(前期)(長野 覚)		西洋文化史 II(三小田 敏雄)……………	10
(後期)(中島義一)……………	4	仏教美術(林 良一)……………	10
社会科教育法(歴史)(野呂 肖生)……………	4	現代美術(宮崎 克己)……………	10
社会科教育法(谷敷 正光)……………	4	禅美術(竹内 尚次)……………	10
社会科教育法(長谷部 八朗)……………	4	美術史概説(林 良一)……………	10
社会科教育法(大久保 治男)……………	5	西域美術史(林 良一)……………	10
職業科教育法(佐藤 規子)……………	5	考古学概説 I(日本)(倉田 芳郎)……………	11
商業科教育法(谷敷 正光)……………	5	考古学概説 II(外国)(量 博満)……………	11
商業実習(前田 幸一)……………	5	考古学特講 I(高浜 秀)……………	11
職業指導(山田 勇治)……………	6	考古学特講 III(川又 正智)……………	11
産業概説(前田 幸一)……………	6	日本民俗学(山折 哲雄)……………	11
世界史概説(中村 道雄)……………	6	仏教民俗学(和田 謙寿)……………	11
世界史概説(渡辺 惇)……………	6	宗教人類学(佐々木 宏幹)……………	11
日本史概説(芥川 龍男)……………	6	考古発掘実習(寺社下 博)……………	11
日本史概説(波田野 富信)……………	6	社会福祉概論(岡田 真)……………	12
地誌学概説(今朝洞 重美)……………	6	障害福祉論(原田 信一)……………	12
地誌学概説(長野 覚)……………	6	社会福祉実習 I(岡田 真)……………	12
地誌学概説(渡邊 盾夫)……………	6	社会福祉法制(小林 弘人)……………	12
自然地理学概説(早船 元峰)……………	7	公の扶助論(近藤 功)……………	12
人文地理学概説(高木 久)……………	7	児童福祉論(原田 信一)……………	13
社会学原論(渡辺 源樹)……………	7	老人福祉論(奥山 正司)……………	13
経済原論(小野 俊夫)……………	7	社会保障概論(藤井 康)……………	13

地域福祉論（岡田 真）	13
ケースワーク論（高橋 重宏）	13
グループワーク論（松本 栄二）	14
社会福祉事業発達史（林 千代）	14
母子福祉論（林 千代）	14
医療社会事業論（春見 静子）	14
社会福祉方法総論（高橋 重宏）	14
社会福祉管理運営論（重田 信一）	14
リハビリテーション論（原田 信一）	15
社会教育概論（磯野 昌蔵）	15
社会教育方法論（村山 輝吉）	15
社会教育行政財政（酒匂 一雄）	15
教育社会学（熊谷 一乗）	15
社会心理学（坪井 健）	15
社会教育施設（村山 輝吉）	15
児童文化（富田 博之）	16
青少年問題研究（和田 謙寿）	16
青少年指導演習（和田 謙寿）	16
社会教育演習（上岡 安彦）	16
教育評価（大浜 幾久子）	16
成人指導及青少年指導（酒匂 一雄）	16
生活指導（秋山 達子）	17
教育哲学（汐見 稔幸）	17
教育調査（大塚 雄作）	17
教育学特講（熊谷 一乗）	17
政治学原論（福岡 政行）	17

## 教育原理

磯野昌蔵

教育とは何か  
中等教育の歴史と問題  
学校教育の役割

10. 障害児とともに
11. 内なる差別を考える
12. 学びへの出発

〔教科書〕 田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥1,800

〔参考書〕 教師養成研究会『教育原理』（学芸図書KK）¥950  
デューイ著・宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫）¥200

## 教育原理

上岡安彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次にそこで、でてくる問題について日本の現象を例として教育的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕 『エミール』〔上・中・下〕（岩波文庫）  
上 ¥550, 中 ¥450, 下 ¥450

〔参考書〕 『教育の原理』〔Ⅰ・Ⅱ〕（東大出版会）  
Ⅰ ¥1,500, Ⅱ ¥1,500

## 教育原理

北村三子

人間社会・人間文化の営み全体の中で教育のありようを問い直してゆくことを目指して、教育の制度・形態・内容・方法をめぐる諸問題や、それらを規定している社会的・歴史的諸問題を考察してゆく。

〔参考書〕 堀尾輝久・松原治郎・寺崎昌男編『教育の原理Ⅰ人間と社会への問い』  
稲垣忠彦・柴田義松・吉田章宏編『教育の原理Ⅱ教師の仕事』（東大出版会）  
1985年 Ⅰ・Ⅱとも¥1,500

## 教育原理

村山輝吉

主として下村湖人の著作などを手がかりとして、人間の発達と教育、文化、社会の関わりを軸とする「教育」の原理的考察をおこない、あわせて教育の制度、形態、内容、方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしてみたい。

〔参考書〕 『下村湖人全集』全10巻（国土社）  
『教育の原理Ⅰ、Ⅱ』（東大出版会）

## 教育原理

坂本信昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ、ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待
6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす

## 青年心理学

大浜幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題をとりあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 青年心理学

藤崎春代

開講時に指示する。

## 青年心理学

牟田悦子

人間の発達の中で青年期がどのような意味をもつかを考えながら、青年期の様々な特徴を見ていく。また、現在の学校教育の中で問題になっている様々な事象に対して、各自が考え、自分なりの判断力をもつこともこの授

業のねらいとしたい。

## 青年心理学

渡辺 三和子

大人でも子どもでもない中間的な存在の青年期は、人間の成長のなかで最も激動する時であり、それだけに中高校生を理解するのは難しくまたおもしろい。おもにこの時期の精神的な病理現象をとりあげ、そこから現代の中学校・高校教育のおかれている状況と問題点について考えていきたい。

〔参考書〕 笠原 嘉『青年期』（中公新書）

## 教育心理学

大浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題をとりあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

藤崎 春代

開講時に指示する。

## 教育心理学

中村 均

1. 発達  
子どもはどのように大人になるか。子どもは大人とどう違うか。
2. 学習  
どのような仕組で学習は起こるのか。学習を促進させるにはどうしたらよいのか。
3. 知能・学力・創造性
4. 人格  
一人一人の違いはどうとらえればよいか。
5. 学級集団  
学級集団はどのような役割を果たすのか。
6. 教育評価

## 教育心理学

荻野 美佐子

教育の場がかかえている問題をきちんと捉え直すことから出発し、問題を解決するために自分で考える態度を形成したい。また、現象を多角的に科学的に見ることができるよう基本的な知識の整理をする。具体的には、子どもの発達、教授＝学習、評価及び教師と生徒のかかわりの問題を主に扱う。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 教育心理学

渡辺 三和子

学ぶことと成長すること、学習活動とは何か、生徒を理解する方法、さまざまな授業の型、集団としての学級、学習の評価等基本的な教育心理学の考え方を学ぶ。また教育の荒廃が語られる昨今、今日の学校教育の問題点を探り、教師としてめざすべき方向について考える。

## 道徳教育の研究

坂本 信昭

開講時に指示する。

## 教育実習

磯野 昌蔵

### 実習前の指導

教育実習についての諸注意

学習指導のための準備

### 実習期間中の指導

### 実習後の指導

グループに分かれ、教育実習の体験をもとにして、学習指導や生活指導の問題を検討する。

## 教育実習

上岡 安彦

### 事前指導

学校の教師としての仕事について講義

学習指導案作成実習

## 訪問指導

実習期間の研究授業参加

## 事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥ 250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥ 300

デューイ『学校と社会』（岩波文庫）  
¥ 300

## 教育実習

村山輝吉

教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるため、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはきんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 教育実習

坂本信昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成—提出、グループ編成による授業（ディスカッション）を行い、教育への理解を深め、望ましい教師像について一緒に考えたいと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

〔参考書〕大村はま『教えるということ』（共文社）  
¥ 480

『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥ 250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥ 300

田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥ 1,800

## 教育実習

北村三子

教育実習前は、実習に際しての注意や心構えなどを中心とする事前指導を行ない、実習後は、現場での体験を相互に交換し、深め合いつつ、学校教育の諸問題や教師の課題などについて考え合う。

## 国語科教育法

神谷道倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、後期は実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

〔教科書〕『中学校・高等学校 国語科教育法（新編）』（桜楓社）¥ 1,200

## 書道科教育法

谷村義雄

文字を書くことは誰でもできることで決してむづかしいことではない。しかし、書は中国においては四千年の歴史があり、日本においても千数百年の歴史がある。この間にいろいろな書体が出来、そしていろいろな書法が生れた。書の芸術は悠遠の歴史の中で開花したもので、現在もまた現在の書が生れつつある。書を単なる文字記号と考える浅薄な思想に対して、書のもつ思想性、民族性を十分に理解して、書とは何かを改めて問いただす授業にしたいと思う。教育法はどう教えるかではなく、なにを教えるべきかを探求する内容にしたい。

〔参考書〕学習指導要領解説『芸術科』

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科教授法としての理論と実践上留意すべき諸問題を述べる。

〔教科書〕特に指定せず。但し、講義中に教材として指定するものあり。





































